

十四年二月一日
日滋賀縣丁第
二號達ヲ以テ
第十二條ヲ改
正ス其達ハ後
ニ出

十一年十二月
九日滋賀縣丁
第四十三號達
ヲ以テ第二十
條第二十一條
ヲ刪除ス其達
ハ第五十一條
ニ出

- 第十二條 第十一條ニ載スル所ノ罪犯ニ付テハ、裁判不法ナルヲ止
告シ又ハ恩赦ノ特典ヲ乞フコト
- 第十三條 法則ノ疑條ニ係ル伺テ處分スルコト
- 第十四條 警察ニ關スル寄附金願ヲ許否スルコト
- 第十五條 郡役所及ヒ各署ノ申牒ヲ處分スルコト
- 第十六條 貸座敷營業場所ヲ廢立スルコト
- 第十七條 課員ニ分掌ヲ命スルコト
- 第十八條 課員ヲ各地ヘ在勤又ハ派出スルコト
- 第十九條 課員ノ賜暇及ヒ病氣引籠願等ヲ處分スルコト
- 第二十條 本課所管ノ金錢ヲ出納スルコト
- 第二十一條 各種豫定ノ費額ヲ交換流用スルコト
- 第二十二條 經費ニ關スルコト

但章程中特ニ明文アルモノハ本條ノ限ニアラス

十一年十二月
九日滋賀縣丁
第四十三號達
ヲ以テ第二十
五條ヲ刪除ス
其達ハ第五十
一條ニ出

十一年十二月
九日滋賀縣丁
第四十三號達
ヲ以テ第五條
ハ第五十一條
ニ出○十四年
二月一日滋賀
縣丁第二號達

- 第二十三條 厩馬ヲ増減換易スルコト
- 第二十四條 簿冊ノ目ヲ増減シ又ハ不用ノ簿冊ヲ毀拆スルコト
- 第二十五條 不用ノ品具ヲ賣却スルコト
- 下款
- 第一條 下款ノ事件ニ付官省ノ諸局鎮臺各裁判所及ヒ使府縣ヘ文
書ヲ往復スルコト
- 第二條 郡役所各署等ヘ文書ヲ往復スルコト
- 第三條 事ノ繁閑ニ依リ便宜課員ヘ事務ヲ通掌セシムルコト
- 第四條 巡查試験願ヲ許否スルコト
- 第五條 巡查ノ被服器具ヲ給與シ又ハ之ヲ修繕スルコト
- 第六條 懲役十年以下ノ罪犯ヲ求判シ又ハ豫審ヲ求ムルコト
- 第七條 第六條ニ載スル所ノ罪犯ニ付テハ、裁判不法ナルヲ上告シ
又ハ恩赦ノ特典ヲ乞フコト

ヲ以テ第七條
ヲ改正ス其詳
ハ後ニ出
○十四年六月
十三日滋賀縣
丁第二十二號
達ヲ以テ第九
條ヲ删除ス其
達ハ後ニ出
○十一年十二
月九日滋賀縣
丁第四十三號
達ヲ以テ第十
二條ヲ删除ス
其達ハ第五十
一條ニ出

第八條 罪犯ニ付テノ告訴告發及吟味願ヲ受理スルコト
第九條 藝娼妓及ヒ貸座敷營業願ヲ許否スルコト
第十條 銃砲彈藥賣買及ヒ營業願ヲ許否スルコト
第十一條 罪証檢察ノ爲メ技術ノ人ヲ雇入ルコト
第十二條 定規アル備品及消耗品ヲ購求スルコト
第十三條 定員内ノ給仕馬丁小使等ヲ雇入ルコト
第十四條 沒官物ヲ公賣スルコト
一下款ノ事務ハ處分濟ノ上必ス日報考課表ニ登記シ上司ノ檢閲ヲ受ルモノトス
一章程中明文ナキ條件ハ總テ上司ニ稟請スヘシ尤指令ヲ以テ專任サレタル事件及ヒ慣例アル瑣末ノ常務ハ課長ノ責任ヲ以テ處分スルヲ得
一章程上款ノ事件ト雖モ時機緊急ノ場合ニ於テハ先ツ處分シ然ル

警察本署章程
ハ前ニ出○警
署章程ハ第
五十四條ニ出

後具申スルヲ得
一章程下款ノ事件ト雖モ紛議或ハ疑條ニ涉ルモノハ上司ニ稟請シテ然ル後處分スヘシ
一嗣後新ニ發行スル條件ハ每件其權限ヲ示スヘシ
○明治十四年二月一日滋賀縣丁第貳號達病課署郡役所大津警察本署并ニ警察署事務章程中左ノ通改正候條此旨相達候事
警察本署事務章程中改正
上款
第十二條 恩赦ノ特典ヲ乞ヒ又ハ第十一條ニ載スル所ノ罪犯ニ付テノ裁判不法ナルヲ上告スルコト
下款
第七條 第六條ニ載スル所ノ罪犯ニ付テノ裁判不法ナルヲ上告スルコト

警察署事務章程第九條未項改正

一前項ニ載スル所ノ罪犯ニ付テノ裁判不法ナルヲ上告スルコト
但恩赦ノ特典ヲ乞フヘキモノト思量スルトキハ縣令ヘ具狀ス
ヘシ

○明治十四年六月十三日滋賀縣丁第貳拾貳號達課署郡役所
病院學校へ
郡長分任條件中第二十條但書ヲ刪除シ左ノ一項増加シ警察本署章
程下款第九條刪除候條此旨相達候事

○一貨座敷及娼妓營業願ヲ許否スルコト

○明治十四年七月十四日滋賀縣丁第三拾號達課署郡役所
病院學校へ
庶務課職制及ヒ事務章程警察本署章程左ノ通改定増補削除候條此
旨相達候事庶務課職制章程中加除之ヲ略ス
拾七條ニ載ス故ニ茲ニ之ヲ略ス

警察本署章程
八前ニ出○郡
長分任條件ハ
第六十六條ニ
出

警察本署章程
八前ニ出

警察本署

○章程中増補ノ條款（原文中上款下款ノ
區別明文之レナシ）

圖書出版願ヲ調査スルコト

○明治十四年十月五日滋賀縣丁第四拾號達課署郡役所大津
病院師範學校へ
警察本署職制別冊ノ通改正候條此旨相達候事

別冊

滋賀縣警察本署職制及事務章程

本署ハ警察ノ事ヲ管掌ス其事務ヲ支分シテ二部トシ以テ其多端
ヲ理スルニ便ニス尤本務ノ繁閑ニ依リ各部通掌スルモノトス

第一部

行政司法警察ニ關スル事務ヲ掌ル

第二部

官制

公文ノ受付諸員ノ履歷其他庶務ヲ掌ル
職制

本署長 一員 三等警部以上ヲ以テ之ニ充ツ

事ヲ縣令ニ受ケ署中一切ノ事務ヲ管攝シ以テ管内警察ノ事
ヲ幹理スルヲ掌ル

管内ヲ巡視シ各警察署ノ事務ヲ監督ス

本署及ヒ各警察署巡査以下ノ勤惰能否ヲ甄別シ賞罰黜陟ヲ
具狀スルヲ得

部長

本署長ノ職掌ヲ輔ケ部中ノ事務ヲ整理シ本署長事故アルハ
ハ上席部長其事務ヲ代理ス

管内ヲ巡視スルヲ掌ル

警部

署中ノ事務ヲ分掌ス

巡査

警部ノ指揮ニ屬シ警戒捜査等ニ従事ス

御用掛

各部ニ付屬シ計算抄寫等ノ雜務ヲ掌ル

第五拾四條 滋賀縣警察署職制及ヒ事務章程

○明治十二年六月十二日滋賀縣丁第拾六號達警察署ヲ除

警察署職制章程別冊ノ通改正候條此旨相達候事

別冊

警察署職制及章程

職制

署長 一員 警部ヲ以テ之ニ充ツ

署員ヲ督シ署中一切ノ事務ヲ管理シ以テ部内警察ノ事ヲ掌

官制

ル巡査以下ノ勸懲能否ヲ甄別シ賞罰黜陟ヲ具狀スルヲ得
警察ニ關スル事件ニ付郡長ノ處分不當ナリト思量スルキハ
縣令ニ對シ取消ヲ要求スルヲ得

警部 定員ナシ毎署置
クヲ必トセス

署長ノ職掌ヲ輔ケ署長不在又ハ事故アルキハ上席警部其事
ヲ代理ス

巡査

署長及ヒ警部ノ指揮ニ屬シ巡邏查察スルヲ掌ル

・ 一等巡査ハ二等以下ノ巡査ヲ監督シ二等巡査ハ三等以下ノ
巡査ヲ監督ス一二等巡査臨時署長ヨリ警部代理ノ命ヲ受タ
ルキハ該一部ノ事務ヲ區處スルヲ得

御用掛 準等外吏

署長及ヒ警部ノ指揮ニ族シ計算抄寫等ノ事ヲ掌ル

事務章程

第一條 掌管ノ事務ヲ執行スルニ付其實施ノ順序ハ署長權内ヲ以
テ適宜定ムルヲ得ヘシト雖モ事成規ニ涉ルモノハ縣令ノ
裁可ヲ受ク

第二條 權内ノ事件ニ付テハ鎮臺各裁判所警視局使府縣等へ文書
ヲ往復スルヲ得ヘシ

第三條 署長及ヒ警部ノ部内出張巡回ハ署長之ヲ專行スルヲ得ヘ
シ其部外ノ出張ハ縣令ノ裁可ヲ受クヘシ

第四條 巡査以下ヲ本縣管内へ出張巡回セシメ又ハ分署ノ交代ヲ
命スルハ署長之ヲ專行スルヲ得ヘシ其管外出張ハ縣令ノ
裁可ヲ受クヘシ

第五條 但罪囚護送等ノ爲メ出張スルハ此限ニ非ス
巡査以下ノ賜暇及ヒ病氣引籠等ノ諸申牒ヲ許否シ及ヒ除

第六條 服出仕ヲ命スルハ署長之ヲ專行スルヲ得ヘシ
定額金ヲ以テ本分署及ヒ所屬ノ建造物ヲ修繕シ又ハ備品

消耗品等ヲ購求スルハ署長之ヲ專行スルヲ得其新築又ハ
摸樣替ヘニ係ル營繕及ヒ巡查ノ官舎ヲ起廢シ又ハ之ヲ移
轉スルハ縣令ノ裁可ヲ受ケヘシ

第七條 豫算額内ノ經費ヲ支出スルハ署長之ヲ專行スルヲ得其科
目ヲ交換流用スルハ縣令ノ裁可ヲ受ケヘシ

第八條 左ノ條件ハ縣令ノ裁可ヲ受ケ處分スヘシ

- 一 重大ノ罪犯兇徒聚衆及ヒ搶劫ノ類及ヒ國事犯及ヒ内外交渉ノ罪犯ヲ糺治スルヲ
- 一 勅奏官位及ヒ華族ノ犯罪ヲ糺治スルノヲ
- 一 不良ノ子弟懲治監入願ヲ處分スルヲ
- 一 密賣淫及ヒ貸座敷藝娼妓等ノ犯則ヲ處分スルヲ

一 不用ノ建造物及ヒ品具ヲ賣却スルヲ

第九條 左ノ條件ハ署長之ヲ專行スルヲ得ヘシ

- 一 違警犯及ヒ帶刀犯ヲ處分スルヲ
- 一 遺失物置贖物等ヲ處分スルヲ
- 一 無籍乞丐ノ徒ヲ處分スルヲ
- 一 街頭ニ掲クル招牌廣告牌檐庇物干板圍等ノ願ヲ許否スルヲ
- 一 道路橋梁修繕中牛馬諸車通行止メ願ヲ許否スルヲ
- 一 警察ニ係ル諸届ヲ處分スルヲ
- 一 一定員内ノ給仕小使ヲ雇入ル、ヲ
- 一 罪証檢察ノ爲メ技術ノ人ヲ雇入ル、ヲ
- 一 沒官物ヲ公賣スルヲ
- 一 部内裁判所アルノ署ニ於テハ左ノ二項ヲ増加ス
- 一 該地裁判所權内ノ罪犯ヲ求判シ又ハ豫審ヲ求ムルヲ

十四年二月一日
滋賀縣丁第
二號達ヲ以テ
第九條末項改
正其達ハ後ニ
出

但第八條第二項ノ罪犯ニ係ルホハ縣令ノ決ヲ取ルヘシ

一前條ニ載スル所ノ罪犯ニ付テノ裁判不法ナルヲ上告シ又ハ恩
赦ノ特典ヲ乞フコ

第十條 章程中明文ナキ條件ハ總テ縣令ニ稟請スヘシト雖モ法律

又ハ規則指令等ヲ以テ專任サレタル事件及ヒ慣行ノ常務
ハ署長ノ責任ヲ以テ處分スルヲ得ヘシ

第十一條 署長權外ノ事件ト雖モ時機緊急止ムヲ得サル場合ニ於

テハ先ツ處分シ然ル後具申スルヲ得ヘシ

第十二條 署長權内ノ事件ト雖モ紛議或ハ疑條ニ涉ルモノハ縣令

ニ稟請シ然ル後處分スヘシ

第十三條 署長權内ノ事務ハ處分濟ノ上日報表ニ登記シ縣令ノ檢

閱ニ供スヘシ

但別段報告ノ例規アルモノハ此限ニアラス

警察署章程ハ
前ニ出

○明治十四年二月一日滋賀縣丁第貳號達課署師役所大津

警察本署并ニ警察署事務章程中左ノ通改正候條此旨相達候事本署

章程中改正文ハ第五拾三條ニ載ス故ニ茲ニ之ヲ略ス

警察署事務章程第九條末項改正

一前項ニ載スル所ノ罪犯ニ付テノ裁判不法ナルヲ上告スルコ

但恩赦ノ特典ヲ乞フヘキモノト思量スルトキハ縣令ヘ具狀

スベシ

第五拾五條 滋賀縣警察分署職制及ヒ事務章程

○明治十四年十月十日滋賀縣丁第四拾壹號達課署師役所大津

警察分署職制章程別冊之通相定候條此旨相達候事

但從前分署在番規則ハ相廢候事

別冊警察分署職制章程

職制

分署長

二等巡查以上ヲ以テ之ニ充ツ

所轄署長ノ命ヲ受ケ在勤巡查ヲ監督シ分掌一切ノ事務ヲ調理シ區内警察ノ事ヲ掌ル

巡查

分署長ノ指揮ニ屬シ巡察警戒等ニ従事シ分署長不在又ハ事故アルキハ上席ノ巡查其事ヲ代理ス

事務章程

第一條

凡ソ分署ニ於テ取扱フ事務ハ所轄署長ノ指揮ヲ乞フヘキモノト分署限リ適宜處分ヲ許サレタル事件トノ別ナク總テ分署長ニ於テ取扱ヒ若シ他ノ巡查ニ於テ取扱ヒタルキハ分署長ノ決ヲ取ルニアラサレハ決行スルヲ得ス

但出張先又ハ時機緊急ノ場合ニ於テハ此限ニアラス

第二條

本縣所屬外ノ官署ヘ文書ノ往復ヲ要スル事件アルキハ總

テ所轄署長ヘ具申スヘシ本縣所屬ノ官署及ヒ戸長役場等ヘ文書ヲ往復スルハ分署長專行スルヲ得ヘシ

第三條

前條官署及ヒ戸長役場宛ニテ發スル文書ハ分署ノ名印ヲ用ヒ其官氏名宛ニテ發スル文書ハ分署長ノ名印ヲ用フヘシ

第四條

管ノ内外ヲ問ハス分署所在地ヨリ三里以上ノ地ヘ出張ヲ要スルキハ其事由ヲ具申シ所轄署長ノ指揮ヲ請クヘシ所轄署部内及ヒ例規ニ依リ傳遞護衛等ノ爲メ出張スルハ三里以上ノ地ト雖モ直チニ出張スルヲ得ヘシ

第五條

持區内住民召喚ヲ要スルコトアルキハ直ニ召喚狀ヲ發スルヲ得ヘシト雖モ其事件特ニ召喚ヲ要スル時ノ外成ヘク巡回ノ際處辨スヘシ

第六條

持區内水火災其他非常ノ事故アルキハ時機見計ヒ當非番ノ別ナク速ニ出張シ相當ノ取締ヲ爲スヘシ若シ人少ニテ力及ハ

サル片ハ最寄警察署又ハ分署へ急報シ應援ヲ乞ヒ其旨尙ホ所轄署へ急報スヘシ

第七條 前條ノ急報ヲ受ケ又ハ受ケサルモ近傍警察署又ハ分署区内ニ非常ノ事變アル片ハ時機見計ヒ當非番ノ別ナク速ニ出張應援スヘシ

第八條 持区内ニ變死行斃人等アル片ハ速カニ出張檢視シ異状ナキモノハ直ニ相當ノ處分ヲ爲スヘシ其疑難ニ涉ルカ又ハ人爲ニ係ルモノト思量スル片ハ所轄署へ急報シ指揮ヲ請クヘシ

第九條 持区内旅舍遊郭ノ檢査ハ勿論諸興行其他取締ヲ要スル事件アル片ハ其景況ニ應シ相當ノ人員出張シ取締ヲ爲スヘシ

第十條 持区内人民ヨリ所轄署へ呈スル願届書等ヲ受領スル片ハ一應査閲ノ上進達スヘシ其指令ヲ要セサル輕易ノ事件ハ相當處分ノ上取纏メ遞送スヘシ

但至急指令ヲ要スルモノハ直チニ願届人ヲシテ該署へ出頭セシムルモ妨ナシ

第十一條 帶刀違犯ノ者アル片ハ分署へ引致シ犯禁ノ刀ハ沒收ノ言渡ヲ爲シ書類ト共ニ所轄署へ送付スヘシ

第十二條 分署員私事ノ諸申牒ハ總テ所轄署へ進達スヘシト雖モ非直日又ハ休暇日々歸リノ他出届及ヒ當病届三日迄ハ分署長ニ於テ認可シ然ル後進達スルコトヲ得ヘシ

第十三條 分署ノ備金并ニ文書物品等ハ分署長之ヲ管守シ分署限リ支出ヲ許サレタル經費ノ出納ハ總テ分署長ニテ取扱ヒ翌月五日限り明細勘定帳ヲ製シ所轄署へ進達スヘシ

第十四條 分署長交代ノ節ハ處分未済ノ事務及ヒ文書物品等ハ明細仕譯書ヲ以テ引繼クヘシ若シ受渡ノ際事實詳明セサルコトアラハ直ニ所轄長へ具申シ指揮ヲ受クヘシ

第十五條 毎日取扱ヒノ事務及ヒ區内ノ景況細大漏サス日誌ニ登記シ置一週間毎ニ要用ノ事項ヲ週報表ニ摘載シ所轄署へ報告スヘシ

但至急ヲ要スル事件ハ其都度別段報告スヘシ

第十六條 分署長權外ノ事件ト雖モ時機緊急止ムヲ得サル場合ニ於テハ先處分シ然ル後具申スルコトヲ得ヘシ

第十七條 分署長權内適宜處分ヲ許サレタル事件ト雖モ疑難ニ涉ルモノハ所轄署長へ稟申指揮ヲ受ケ然ル後處分スヘシ

第五拾六條 滋賀縣監獄署職制及ヒ事務章程

○明治十四年三月二十八日滋賀縣丁第九號達課署郡役所 病院學校へ

今般府縣官中典獄以下ヲ置職制被相定候ニ付テハ本縣監獄丁長守卒獄丁及ヒ監獄本支署職制等總テ相廢候條此旨相達候事

○明治十四年十一月二日滋賀縣丁第四拾四號達課署郡役所 病院學校 大津病院へ

典獄以下ノ職制ハ民部成文律類纂第三編第二十七條ニ出

監獄署事務章程別紙ノ通改定候此旨相達候事

別紙 滋賀縣監獄署事務章程

第一條 監獄署及ヒ監獄支署ノ事務ヲ分テ書記看守ノ二部トナス

第二條 監獄署及ヒ監獄支署ノ事務上司ノ裁可ヲ得テ後處分スヘキモノハ左ノ件トナス

第一 諸規則ヲ制立又ハ變更スル事

第二 慣行ノ成例ヲ變更スルコト

第三 事ノ大小ヲ問ハス官省院へ稟申スル事

第四 署員ヲ各地へ出張又ハ支署へ在勤セシムル事

但罪囚護送等ノ爲メ出張スルハ此限ニアラス

第五 判任官ノ賜暇及ヒ病氣引籠願等ヲ處分スル事

第六 看守以下ノ定員ヲ増減スル事

第七 懲役事業ヲ興廢スル事

官制

但瑣末ノ事業ハ此限ニアラス

第八 看守ノ合宿所ヲ廢設又ハ移轉スル事

第九 獄舎及ヒ諸建物ヲ新築又ハ模様替スル事

第十 定規ナキ經費ヲ支出スル事

第十一 各種豫定ノ費額ヲ交換流用スル事

第十二 在監人ニ賞譽金ヲ賜與スル事

第十三 常備金管守ノ方法ヲ定メ又ハ變更スル事

第十四 定規ナキ備品消耗品及役業器械ヲ調製スル事

第十五 不用ノ建造物及ヒ品具ヲ賣却スル事

第三條 第二條ノ事件ヲ除クノ外ハ典獄之ヲ專行スルヲ得

但處分濟ノ上必ス日報考課表ニ登記シ上司ノ檢閲ヲ受クルモノトス

第四條 第二條ノ事件ト雖モ時機緊急ノ場合ニ於テハ先ツ處分シ

然ル後具申スルヲ得

第五條 典獄限リ專行ヲ得ルノ事件ト雖モ紛議或ハ疑條ニ涉ルモノハ上司ニ稟請シテ然ル後處分スヘシ

第六條 以上各條ノ事務ニ於テハ典獄及ヒ主任者其責ニ任ス

第五拾七條 滋賀縣監獄看守職務心得押丁職務手續

○明治十四年六月二十九日滋賀縣丁第拾五號達課署郡役所 病院學校へ

監獄看守職務心得押丁職務手續別紙ノ通相定候條此旨相達候事紙別

第五拾八條 滋賀縣公立大津病院職制及ヒ事務章程

○明治十三年四月六日滋賀縣丁第拾貳號達課署郡役所 衛生課及ヒ公立大津病院職制事務章程別冊之通改定候條此旨相達

候事

別冊衛生課職制章程ハ

官制

公立大津病院職制及事務章程 明治十三年四月改定

本院ハ縣下人民ノ疾病ヲ救療シ醫術ノ進歩ヲ教導スル所トス

職制

長 一員

本院ノ諸員ヲ督シ院内一切ノ事務ヲ總理シ以患者ヲ診療シ生徒ヲ教育スルヲ掌ル

衛生上ノ事項ニ付テハ意見ヲ陳シ廳議ニ與ルヲ得

教頭以下諸員ノ勤惰能否ヲ審按シ之レカ進退黜陟ヲ具狀スルヲ得

驅楙院ヲ管理シ及其諸員ノ進退黜陟ニ關與ス

掌管ノ事舉ラサルアレハ其責ニ任ス

副長 一員

職掌院長ニ亞ク

院長事故アルキハ其職務ヲ代理ス

自一等醫 至七等醫 定員ナシ

院長ノ指揮ニ從ヒ内外患者ヲ診察シ專ラ治療ノヲ掌ル

正副院長事故アルキハ其職務ヲ代理スルヲ得

看病長 一員

院長ノ指揮ニ從ヒ看病人ヲ管シ患者ヲ看護スルヲ掌ル

司藥長 一員

院長ノ指揮ニ從ヒ司藥生ヲ管シ調劑ノヲ掌ル

自一等司藥生 至四等司藥生 定員ナシ

司藥長ノ指揮ニ從ヒ其事務ヲ分掌ス

教頭 一員

院長ノ指揮ニ從ヒ教授以下ヲ管シ生徒ヲ教授スルヲ掌ル

副教頭 一員

官制

職掌 教授ニ亞ク
自一等教授 定員ナシ
至四等教授

教授ノ指揮ニ從ヒ生徒教授ノヲ分掌ス
自一等助教 定員ナシ
至四等助教

職掌 教授ニ亞ク
舍長 一員

教授ノ指揮ニ從ヒ生徒ノ學業品行等ヲ監視シ舍内ノ取締ヲ掌ル

副舍長 一員

職掌 舍長ニ亞ク

書記 定員ナシ

院長ノ指揮ニ從ヒ庶務出納用度等ノヲ掌ル
事務章程

本院ノ事務大分シテ上下ノ二款ト爲ス其上款ハ上司ノ裁可ヲ經テ然ル後施行ス其下款ハ院長ノ意見ヲ以テ專行スルヲ得上下二款ノ事務ニ於テハ院長及主任者其責ニ任ス
上款

第一條 諸規則ヲ制定シ又ハ變更スルヲ

第二條 慣行ノ成例ヲ變更スルヲ

第三條 事ノ大小ヲ問ハス他管廳ニ稟申照會スルヲ

第四條 院内ノ建物ヲ構成廢除スルヲ

第五條 院用ノ爲メ土地或ハ家宅等ヲ購求又ハ借用スルヲ

第六條 院内ノ立木等ヲ伐採スルヲ

第七條 寄附金等ヲ收入シ及其金ヲ遣拂フヲ

第八條 貸費生徒ヲ入退學セシムルヲ

第九條 生徒卒業試験ヲ執行スルヲ

第十條 雇員ヲ除ク外諸員ノ賜暇及療養願ヲ處分シ又ハ居喪ノ者
ヘ出勤ヲ命スルコト

第十一條 院務ニ付院長自ラ管外及一泊以上ノ地ニ出張スルコト
但患者往診ハ此限ニ非ス

第十二條 院務ニ付雇員ヲ除ク外諸員ヲ管外ニ差遣スルコト
但患者往診ハ此限ニ非ス

第十三條 定額金管守ノ方法ヲ定メ又ハ之ヲ變更スルコト

第十四條 定規ナキ經費ヲ支出スルコト

第十五條 不用ノ建物品具等ヲ賣却スルコト

第十六條 簿冊ノ目ヲ増減シ又ハ不用ノ簿冊ヲ毀拆スルコト

第十七條 驅棋院事務章程上款第一條二條三條五條六條八條九條
十二條十六條ニ係ルコト

下款

第一條 司藥場及府縣公立病院ヘ文書ヲ往復スルコト

第二條 郡役所警察署監獄署及本廳各課ヘ文書ヲ往復スルコト

第三條 院内ノ破損ヲ營繕スルコト

第四條 院内ノ建坪ニ關セサル諸造作ヲ新構或ハ改造スルコト

第五條 月俸五圓以下ノ雇員ヲ進退スルコト

第六條 諸員ニ事務ヲ分掌セシムルコト

第七條 院務ニ付院長自ラ管内日販ノ地ニ出張スルコト
但患者往診ハ第九條ニ準ス

第八條 院務ニ付諸員ヲ管内各地ニ差遣シ及雇員ヲ管外ニ差遣ス
ルコト
但患者往診ハ第九條ニ準ス

第九條 管内外ニ拘ハラズ患者往診ノ爲メ院長自ラ出張シ又ハ醫
員ヲ差遣スルコト

- 第十條 諸員ノ當病忌引届ヲ處分スルヲ
- 第十一條 雇員ノ賜暇及病養願ヲ處分シ又ハ居喪ノ者ニ出勤ヲ命スルヲ
- 第十二條 自費生徒ヲ入退學セシムルヲ
- 第十三條 生徒小試験ヲ執行スルヲ
- 第十四條 生徒入學中ニ係ル願届ヲ處分スルヲ
- 第十五條 生徒ノ舍則ニ違フモノヲ罰則ニ照ラシ處分スルヲ
- 第十六條 定規アル經費ヲ支出スルヲ
- 第十七條 貧窮患者ニ施藥スルヲ
- 第十八條 驅棋院事務章程上款第四條七條十條十一條十三條十四條十五條ニ係ルヲ
- 一 下款ノ事務ハ處分濟ノ上一ヶ月毎ニ考課表ニ登記シ上司ノ檢閱ヲ受クルモノトス

- 一 章程中明文ナキ條件ハ總テ上司ニ稟請スヘシ尤指令ヲ以テ專任サレタル事件及慣例アル瑣末ノ常務ハ院長ノ責任ヲ以テ處分スルヲ得
- 一 章程上款ノ事件ト雖モ時機緊急ノ場合ニ於テハ先ツ處分シ然ル後具申スルヲ得
- 一 章程下款ノ事件ト雖モ紛議或ハ疑條ニ涉ルモノハ上司ニ稟請シテ然ル後處分スヘシ

第五拾九條 滋賀縣驅棋院職制及ヒ事務章程

○明治十三年四月六日滋賀縣丁第拾三號達課署郡役所
 驅棋院職制事務章程別冊之通相定候條此旨相達候事
 別冊 驅棋院職制及事務章程 明治十三年四月創定

職制

長 一員

官制

本院ノ諸員ヲ督シ院内一切ノ事務ヲ總理シ以テ驅楙ノ事ヲ掌ル

醫員以下ノ勤怠能否ヲ具狀スルヲ得

掌管ノ事舉ラサルアレハ其責ニ任ス

掌管ノ事ニ就テハ意見ヲ陳スルヲ得

醫員 定員無シ

院長ノ指揮ヲ受ケ娼妓梅毒患者ヲ治療検査スルヲ掌ル

藥局生 定員無シ

院長ノ指揮ヲ受ケ調劑ノヲ掌ル

看病長 一員

院長ノ指揮ヲ受ケ看病人ノ監督病室ノ取締ヲ掌ル

事務掛 定員無シ

院長ノ指揮ヲ受ケ庶務會計ノヲ掌ル

事務章程

本院ノ事務大分シテ上下ノ二款ト爲ス其上款ハ病院長ニ稟議ノ上施行ス其下款ハ驅楙院長ノ意見ヲ以專行スルヲ得上款

第一條 諸規則ヲ制立シ又ハ變更スルヲ

第二條 慣行ノ成例ヲ變更スルヲ

第三條 他向ヘ文書ヲ往復スルヲ

第四條 事ノ大小ヲ問ハス上司ヘ稟申スルヲ

第五條 支局出張所等ヲ廢置シ又ハ之ヲ移轉スルヲ

第六條 本院及支局等ノ建坪ヲ増減シ又ハ立木等ヲ伐採スルヲ

第七條 本院及支局等ヲ修繕シ又ハ建坪ニ關セサル摸樣替ヲナス

第八條 院用ノ爲メ土地或ハ家屋等ヲ購求又ハ借用スルヲ

第九條 事務掛以上ノ賜暇療養願等ヲ處分シ又ハ居喪ノ者ヘ出勤ヲ命スルコト

第十條 院務ニ付院長自ラ管外又ハ一泊以上ノ地ニ出張シ及事務掛以上ヲ各地ニ差遣スルコト

但檢査ノ爲メ醫員ヲ派出スルハ本條ノ限ニ非ス

第十一條 看病人以下ヲ進退スルコト

第十二條 寄附金等ヲ收入シ及其金ヲ遣拂フコト

第十三條 不用ノ簿冊ヲ毀拆スルコト

第十四條 不用ノ品具ヲ賣却スルコト

第十五條 書籍器械備品及慣例ナキ消耗品ヲ購求スルコト

下款

第十六條 例規ナキ經費ヲ支出スルコト

第一條 諸員ニ事務ヲ分掌セシムルコト

第二條 郡役所警察署監獄署及本廳ノ各課等ヘ文書ヲ往復スルコト

第三條 院務ニ付院長自ラ管内日飯ノ地ニ出張シ及檢査ノ爲メ醫員ヲ各地ニ派出スルコト

第四條 事務掛以上ノ當病忌服等ノ届ヲ處分スルコト

第五條 看病人以下ノ願届ヲ處分シ又ハ居喪ノ者ヘ出勤ヲ命スルコト

第六條 檢査條例ニ依リ患者ヲ入院又ハ退院セシムルコト

第七條 書籍器械備品等ヲ保護修補スルコト

第八條 慣例アル消耗品ヲ購求スルコト

第九條 例規アル經費ヲ支出スルコト

一下款ノ事務ハ處分濟ノ上一ヶ月毎ニ考課表ニ登記シ病院長ノ檢閱ヲ受クルモノトス

一章程中明文ナキモノハ勿論下款ノ事件ト雖モ紛議或ハ疑條ニ涉

ルモノハ總テ病院長ニ稟議スヘシ

第六拾條 滋賀縣師範學校職制及ヒ事務章程

○明治十五年二月九日滋賀縣丁第貳號達課署郡役所
公立病院へ

本縣師範學校職制及事務章程別冊ノ通改正候條此旨相達候事
別冊 滋賀縣師範學校職制及事務章程

本校ハ小學教員タルベキ者ヲ養成スル所トス

職制

校長 一員

本校及書籍縱覽所ノ事務ヲ統括シ生徒教養ノヲ掌ル

但本文ノ事項ニ付テハ意見ヲ上陳スルヲ得

本校職員ノ勤惰能否ヲ密按シ之ガ進退賞與ヲ具狀スルヲ得

小學校教則ノ可否ヲ上陳スルヲ得

幹事 教諭ヨリ
之ヲ兼ス 定員ナシ

指揮ヲ校長ニ承ケ校務ヲ整理ス

校長アラサルハ上席ノ幹事其代理ヲナスヲ得

書記 定員ナシ

指揮ヲ校長ニ承ケ事務ヲ分掌ス

生徒取締 定員ナシ

指揮ヲ校長ニ承ケ生徒ヲ監督ス

教諭 定員ナシ

指揮ヲ校長ニ承ケ生徒ヲ教養ス

助教諭 定員ナシ

職教諭ニ亞ク

授業補 定員ナシ

指揮ヲ校長ニ承ケ生徒授業ノヲ補フ

事務章程

官制

本校ノ事務ヲ分チテ上下ノ二款トシ其上款ハ本廳ノ裁可ヲ經テ然後施行ス其下款ハ校長之ヲ專行スルヲ得上下二款ノ事務ニ於テハ校長及主任者其責ニ任ス

上款

- 第一條 諸規則ヲ制定シ及之ヲ變更スル事
- 第二條 貸費生徒ヲ募集スル事
- 第三條 校員ヲ管内外ヘ派出スル事
但管内三里以内ノ地ニ派出スルハ此限ニアラス
- 第四條 特ニ生徒ニ退校ヲ命シ及貸費生徒ノ退校願ヲ許否スル事
- 第五條 生徒及雇員賞擧ノ事
- 第六條 成規慣例アラサル經費金ヲ遣拂フ事
- 第七條 本支校及書籍縦覽所ヲ臨時開閉スル事
- 第八條 不用ノ物品ヲ賣却スル事

十五年三月二日
滋賀縣丁第六號
上款第九條ヲ下款ノ第三條ヘ編入シ以下係條下ケ其後ニ出

第九條 生徒ニ卒業証書ヲ交付スル事

下款

- 第一條 書籍帶出ノ特許狀ヲ附與スル事
- 第二條 貸費生徒ニ入校ヲ許シ及學資ヲ貸與スル事
- 第三條 自費生徒募集ノ事
- 第四條 小學校教員志願者ノ學力ヲ試験シ其証書ヲ交付スル事
- 第五條 校内ノ事務ヲ分課シ其擔任ヲ定ムル事
- 第六條 雇員ヲ進退スル事
- 第七條 年報及功程等ヲ編纂スル事
- 第八條 生徒ノ轉學及退校願ヲ許否スル事
- 第九條 生徒ヲ懲戒スル事
- 第十條 書籍借覽ノ犯則者ヲ規則ニ照ラシテ處分スル事
- 第十一條 生徒ノ入舍通學歸郷外泊願ヲ許否スル事

官制

師範學校事務章程ハ前二出

第十二條 月俸旅費等ヲ定規ニ照ラシテ交付スル事
第十三條 成規慣例アル經費金ヲ遣拂フ事

第十四條 貸費償還金ヲ收入スル事

第十五條 下款ノ事務ニ因テ使府縣及郡區役所學校等ニ文書ヲ往復スル事

一章程中明文ナキ條件ハ總テ本廳ニ稟請スヘシ尤指令ヲ以テ專任セシ事件及慣例アル瑣末ノ常務ハ校長ノ責任ヲ以テ處分スルヲ得

一章程中下款ノ事件ト雖モ紛議或ハ疑條ニ涉ルモノハ本廳ニ稟請シ然後處分スヘシ

○明治十五年三月二日滋賀縣丁第六號達^課郡役所
當縣師範學校事務章程中上款第九條ハ自今下款第三條へ編入シ以下逐條繰下ケ候條此旨相達候事

○第三款 郡役所

第六拾壹條 郡役所開廳ノ事

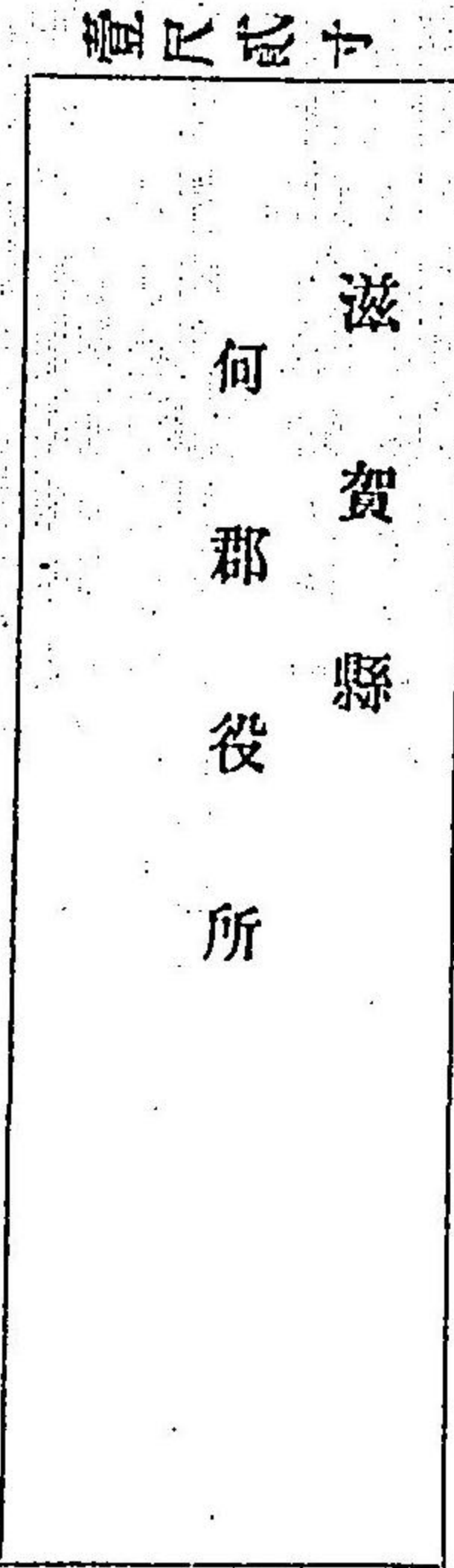
○明治十二年六月十日滋賀縣甲第五拾壹號布達
今般甲第三十二號ヲ以郡政施行ノ儀及布達候ニ付テハ來ル七月一日ヨリ郡役所開廳候條此旨布達候事

第六拾貳條 郡役所門牌雛形

○明治十二年六月五日滋賀縣戊第四百三拾壹號達^郡郡役所
郡役所門牌左ノ雛形ノ通相定候條此旨相達候事

雛形

四尺五寸



官制

甲第三十二號
布達ハ第四十三條ニ出

第六拾三條 郡役所職務條例

○明治十二年六月四日滋賀縣戊第四百貳拾七號達郡役所
郡役所職務條例別冊ノ通相定候條此旨相達候事

別冊

郡役所職務條例

第一章 職務規程

第一條 郡役所ノ職務ヲ分ツテ三部トナシ書記其事務ヲ分掌シ郡長之ヲ總攝ス乃チ其區分左ノ如シ尤事務ノ繁閑ニヨリ便宜通掌スルモノトス

第一部

受付戸籍社寺驛遞及ヒ郡吏員以下ノ進退其他一切ノ庶務ヲ掌ル

第二部

十四年七月十六日滋賀縣丙第五十三號達ヲ以テ第三部ニ付附令アリ
參看スベシ其達ハ後ニ出

租税地理土木出納用度等ノ事務ヲ掌ル

第三部

教育勸業衛生ノ事務ヲ掌ル

第二條 郡長事故アルハ上席ノ書記其事務ヲ代理スルヲ得

第三條 郡長ハ書記ノ分掌ヲ命シ及ヒ月俸八圓以下ノ用掛ヲ置キ

各部ニ附屬セシムルヲ得

但定額以外ニ係ルモノハ此限ニ非ス

第四條 郡長ハ定額金ヲ以テ郡役所ノ修繕ヲ爲スヲ得

但新築又ハ變更ニ係ルモノハ此限ニ非ス

第五條 郡長ハ成規アル經費ヲ支出シ又不用ノ物品ヲ賣却スルヲ得

第六條 郡長ハ書記用掛戸長小學教員等ノ歸省療養其他私事ノ願届ヲ許否スルヲ得

官制

學校保護役ハ
教育令ニ依テ
消滅ス

第七條 郡長ハ戸長ノ具狀ニ依リ學校保護役及助教等ヲ進退
ヲ得

第八條 郡長ハ書記用掛戸長小學教員等ノ居喪中ニ出勤ヲ命スル
ヲ得

但以上第三條第六條第七條及本條ハ處分ノ都度縣令ヘ届出ツ
ヘシ

第九條 郡長權内ノ事務ニ就テハ戸長ニ命令シ其事ヲ調査セシム
ルヲ得

第十條 郡長ハ部内ヘ報告書若クハ告諭書ヲ發行スルコトヲ得
但右達ヲ要スルモノハ本文ノ限ニ非ス

第十一條 郡長ハ部内ノ出張巡回及ヒ書記以下ノ本縣管内出張巡
回ヲ專行スルヲ得

第十二條 郡長權内ノ事件ニ付テハ裁判所他府縣郡役所ヘ文書ヲ

十二年九月二
十四日滋賀縣

西第百五十三
號達ヲ以テ第
十二條中ヘ
及ヒ警察署
ノ五字ヲ増補
ス其達ハ後ニ
出

往復スルヲ得

第十三條 郡長ハ權外ニ屬スル申牒書ニ對シ意見アルモノハ其意
見ヲ付シ別ニ意見ナキモノハ直ニ進達スルモノトス

第十四條 郡長權内ノ事件ヲ施行スル文書及命令書ニハ郡長ノ名
印ヲ用ヒ人民ヨリ差出ス申牒等亦郡長ノ名宛ヲ用ヒシムヘシ尤
モ其申牒書ニ對スル指令ニハ郡役所名印ヲ用ユベシ

第十五條 郡長權内ノ事件ト雖モ紛議或ハ疑條ニ涉ルモノハ其事
狀ヲ具シテ縣令ノ指揮ヲ受クヘシ

第十六條 郡長權内ノ事務ハ處分ノ後第二章報告順序ニ照シ縣令
ニ報告スルモノトス

第二章 報告順序

第十七條 左ノ件々ハ毎時報告スルモノトス

一 河岸地借地檢査ノ件

第六十六條ニ
載スル郡長
管及ヒ特任ノ
條件參照スベ

- 一 町村協議費ヲ以テ養惡水路溜池井堰樋管等新設變更ノ節實地檢査ノ件
- 一 開墾地檢査ノ件
- 一 身代限財產取扱ノ件
- 一 逃亡死亡絶家ノ財產處分ノ件
- 一 絶家再興及分家願ノ件
- 一 改氏名願ノ件
- 一 租税不納者處分ノ件
- 一 公立學校ノ名稱及位置變換ノ件
- 第十八條 左ノ件々ハ翌月十日以内ニ報告スルモノトス
- 一 士族民籍編入願ノ件
- 一 戸主復籍及其家名ヲ廢シ他ヘ入夫縁付或ハ養子女トナリ及ヒ遺子ナキ寡婦ヘ後夫ヲ迎フル願ノ件

- 一 改宗離附檀届ノ件
- 一 縣鄉村社以下ノ祭式變更及祭日改定ノ件
- 一 社寺修繕願ノ件
- 一 編籍願ノ件
- 一 戶籍訂正願ノ件
- 一 原籍調査ノ件
- 一 逃亡入届ノ件
- 一 諸船賣買及解船届ノ件
- 一 諸船鑑札及檢印願ノ件
- 一 國稅并地方稅及賦金徵收ノ件
- 一 官有地ノ倒木枯木賣却ノ件
- 一 電線道路田畑水利ニ障碍アル官有樹木伐採ノ件
- 一 印紙罫紙賣捌願ノ件

第六十六條二
願スル十三年

- 一 度量衡検査ノ件
- 一 酒類營業願ノ件
- 一 煙草營業願ノ件
- 一 牛馬賣買鑑札願ノ件
- 一 官地ニ於テ露店取設願ノ件
- 一 民有地社寺境内伐木願ノ件
- 一 民有ノ堤防地仕用料査定及徵收ノ件
- 一 諸拂下物代金並借地料徵收ノ件
- 一 官地ニ生スル木實草類賣却ノ件
- 一 職遊獵願威銃願ノ件
- 一 地方税ニ屬スル諸營業願ノ件
- 一 免稅車船願ノ件
- 一 賣藥請賣行商願ノ件

十一月二日滋
賀縣丙第七十
四號達ニ依テ
第三十一項消
滅ス

十四年六月三
十日滋賀縣丙
第四十七號達
ヲ以テ第三十
三項ヲ削除ス
十三年四月二
十八日甲第
四十四號布達
ニ依テ「私専
開閉」ノ四字
消滅ス其達ハ
後ニ出

十二年戊第四
百二十七號達

- 一 藥用阿片拂下願ノ件
 - 一 町村協議費ヲ以テ里道以下ノ道路橋梁及養惡水路溜池樋井堰等
修繕ノ件
 - 一 清酒ヲ除クノ外酒類釀造石敷検査ノ件
 - 一 公立學校新築届ノ件
 - 一 教育會議開閉届ノ件
 - 一 私學開閉及ヒ名稱位置變換届ノ件
 - 一 地目變換ノ件
- 明治十二年九月二十四日滋賀縣丙第五百十三號達所ニ役
本年六月廿四日第百二十七號達郡役所職務條例
第十二條中郡役所ノ下ニ「及ヒ警察署」ノ五字ヲ增補候條此旨相達候
事
- 明治十四年六月三十日滋賀縣丙第四百七十七號達所ニ役

ハ前ニ出ツ
甲第九十六號
布達及十二年
戊第四百二十
六號達ハ第六
十六條ニ出

勸業課職制章
程ハ第四十八
條ニ出

今般甲第九十六號ヲ以テ布達候ニ付テハ明治十二年戊第四百二十
六號達郡長分任條例之内第三十一條同年戊第四百二十七號達郡役
所職務條例第十八條第三十三項削除候條此旨相達候事

○明治十四年七月十六日滋賀縣丙第五拾三號達郡役所

今般勸業課職制及ヒ事務章程改正候ニ付テハ自今郡役所ニ於テモ
各條項ニ準シ總テ三部ニ於テ取扱候様可致此旨相達候事

第六拾四條 學務擔任ノ郡書記事務要項

○明治十四年六月二十五日滋賀縣丙第四拾六號達郡役所

自今郡書記中學務擔任之者ハ成ルベク教育之大意ニ通スル者ヲ以
テ之ニ充別紙要項ニ據リ事務爲取扱候様可致旨其筋ヨリ達有之候
條此旨相達候事

但本文學務擔任者ノ姓名官等ハ其進退ノ都度開申可致候事
別紙

學務擔任ノ者事務要項

學務擔任ノ者ハ郡長ノ指揮ニ從ヒ其郡内一切ノ學務ニ從事スヘ
シ其要項左ノ如シ

第一項 町村立學校及私立小學校教授ノ利害得失ヲ監督スル事

第二項 町村立學校及私立小學校ノ圖書器械校簿入學退學出席學業行狀等ノ簿冊

ノ適否及校舍ヲ監督スル事

第三項 學齡兒童ノ就學ヲ勸誘督責スル事

第四項 學務委員ノ能否勤惰ヲ監督スル事

第五項 町村立學校及私立小學校教員等ノ能否勤惰ヲ監督スル事

第六項 學校ニ入レス巡回授業ニ依ラマシテ普通教育ヲ授クルモ
ノヲ調査スル事

第七項 學校ニ入ラス巡回授業ニ依ラスシテ普通教育ヲ受クル學
齡兒童ノ學力ヲ試驗スル事

- 第八項 私立學校小學校ヲ除ク教育ノ利害ヲ監視スル事
- 第九項 町村立私立學校等ノ設置廢止分合移轉等ノ件ヲ調査スル事
- 第十項 町村立學校等ノ資産及經費等ノ件ヲ調査スル事
- 第十一項 町村立學校授業料ノ件ヲ調査スル事
- 第十二項 町村立私立小學校教則斟酌ノ件ヲ調査スル事
- 第十三項 町村立私立學校等ノ諸規則制定改正ノ件ヲ調査スル事
- 第十四項 町村立學校及私立小學校ノ建築修繕等ノ件ヲ調査スル事
- 第十五項 巡回授業ノ方法施設ノ件ヲ調査スル事
- 第十六項 町村立小學校ニ代用スル私立小學校ノ件ヲ調査スル事
- 第十七項 學務委員薦舉等ノ件ヲ調査スル事
- 第十八項 町村立學校教員等ノ進退黜陟及給料等ノ件ヲ調査スル事

事

- 第十九項 町村立學校教員等慰勞ノ件ヲ調査スル事
- 第二十項 町村立私立小學校教員學力檢定ノ件ヲ調査スル事
- 第二十一項 學校教員品行檢定等ノ件ヲ調査スル事
- 第二十二項 町村立私立學校生徒ノ試験ニ監臨スル事
- 第二十三項 町村立私立學校生徒獎勵ノ件ヲ調査スル事
- 第二十四項 學事ニ關スル寄付金等ノ件ヲ調査スル事
- 第二十五項 學校教員生徒及學務委員等褒賞懲罰ノ件ヲ調査スル事
- 第二十六項 學事ニ關スル篤志盡力ノ者ヲ調査スル事
- 第二十七項 學事ニ關スル集會ノ件ヲ調査スル事
- 第二十八項 貧困兒童等就學ノ方法施設ノ件ヲ調査スル事
- 第二十九項 町村立學校ノ敷地免稅等ノ件ヲ調査スル事

- 第三十項 町村立私立幼稚園書籍館等ノ件ヲ調査スル事
- 第三十一項 學事ニ關スル町村會評決ノ件ヲ調査スル事
- 第三十二項 學事年報等ヲ調製スル事
- 第三十三項 學事ニ關スル諸公文ヲ調査スル事
- 第六拾五條 郡役所ノ事務引繼規則

○明治十二年六月四日滋賀縣第四百貳拾五號達郡役所
郡役所事務引繼規則別冊之通相定候條此旨相達候事

別冊

郡役所事務引繼規則

第一條 郡役所ノ廢合又ハ郡長轉免等ノ節ハ奉職中ノ事務并取懸ノ事件及ヒ後來ノ見込ヲ詳記セル演說書ヲ作り先前ヨリ繼送ノ書類並現今取扱ノ諸簿冊等目錄ヲ添へ新舊郡長受渡ノ証書ヲ交付スヘシ

第二條 所轄郡ノ一方分割合併ノ節モ亦第一條ニ準シ其分合町村ニ關スル書類簿冊等悉皆引分ケ受渡ヲ爲スヘシ

第三條 郡長亡没シ又ハ事務引繼ノ際疾病其他事故アツテ自ら引繼ヲ爲シ能ハサル場合ニ於テハ總テ上席書記代理ヲ以テ引渡スヘシ

第四條 廢止ニ係ル郡役所ノ郡長書記ハ所轄ノ本郡役所へ事務悉皆引繼濟迄舊役所ノ事務擔任スルハ勿論ト雖ヒ廢合ノ達書到達ノ後ハ未決ノ事件處分スルノ權ナシ

但已ニ取懸リ中止スヘカラザル事件及ヒ調査期限アツテ差置キ難キ事件ハ每件縣令ノ決ヲ取テ處分スヘシ

第五條 租税及ヒ出納ニ關スル事件ハ別テ精密取調一々帳簿ニ照シ皆納未納ノ譯上納已濟未濟ノ區別等詳細仕譯書ヲ以テ引渡スヘシ

第六條 新舊事務受渡ノ期限ハ轉免ノ辭令拜受ノ日ヨリ二十日以
内トス若シ右期限内ニ引繼ノ事務整頓シ難キハ其事由ヲ具狀
シ縣令ノ指揮ヲ受クヘシ

但受渡濟ノ上ハ其旨新任郡長ヨリ縣令ヘ具狀スヘシ

第七條 新任郡長ニ於テ前任郡長引渡條件ノ内其處分成規例格ニ
乖戾スルカ或ハ後來ノ弊害トナリ引受ケ難キ件々ハ其事情ヲ詳
ニシ縣令ヘ具狀スヘシ

第八條 新任郡長ニ於テハ現在ノ金錢物品及証書類ハ一々其仕譯
書ト右ニ關スル諸帳簿ト照合シ差違ナキヲ詳知シテ後受取ルヘ
シ

第九條 諸帳簿及ヒ金錢物品等引渡ノ目錄及ヒ演說書等ハ左ノ書
式ニ準シ明細記載シ錯雜遺漏ナキ様受渡スヘシ
但諸帳簿ハ一定ノ目錄ニ照合シ受渡スヘシ

諸帳簿引渡目錄書式

- 一 何帳簿 何冊
 - 一 何仕譯或ハ明細書 何冊
 - 一 何編冊 何冊
 - 一 何圖 何枚
 - 一 合何冊何枚
- 右之通引渡申候也
- 年號月日 舊何郡長氏 名印
- 何郡長氏名殿
- 國税金引渡目錄書式
- 一金何程 郡内地租ノ内收入高
 - 一金何程 何々税ノ内收入高
 - 一金何程 何々免許金ノ内收入高

官制

(總テ其年租税ノハ其名目限リニ記帳引渡月迄)

合金何程

内

金何程

收税委員納付済

但領受証書何通

金何程

收入済收税委員へ可納付分

外

金何程

未納何月迄可收入分

右ハ拙者在勤中何年租税金ノ内當一月ヨリ何月迄收入高引渡仕譯書面ノ通候也

年號月日

舊何郡長氏 名印

何郡長氏名殿

地方税及賦金引渡目錄書式

一金何程

何々税ノ内收入高

一金何程

何々免許料ノ内收入高

一金何程

何々賦金何月分ノ内收入高

(總テ其年ノ税ニ屬スル分ニ記帳引渡月迄)

合金何程

内

金何程

縣廳へ納付済

但領受証書何通

金何程

收入済縣廳へ可納付分

外

金何程

滞納何月迄可收入分

右ハ拙者在勤中何年地方税及賦金ノ内當一月ヨリ何月迄收入高引渡仕譯書面ノ通ニ候也

官制

年號月日

何郡長氏名殿

當何郡長氏

名印

出納金引渡目錄書式

一金何程

經費豫算額ノ内
應ヨリ受取候分

内

金何程

定額常費拂高

金何程

額外常費拂高

金何程

臨時費拂高

(此外諸拂廉限記載スヘシ)

小以金何程

殘金何程

在高

一金何程

何々費ノ内
受取候分

内

官制

金何程

何月何日
但請取証書何通

殘金何程

在高

一金何程

不用品拂代

一金何程

官舎拂代

小以金何程

官林拂代

内

金何程

縣廳へ納
但納証書何通

金何程

現在高

在高

合金何程

右ハ拙者在勤中何年度經費金並何々費ノ内何月ヨリ何月マテ諸
渡殘諸品拂代金取立濟ノ分共書面ノ通候也

年號月日

何郡長氏名殿

舊何郡長氏

名印

演說書文例

今般本郡役所被罷或ハニ付郡政引渡ノ條件左ニ

一本郡ノ儀ハ家數何程人口何程段別何程地價何程稟山嶽周

坦平ニシテ肥瘠運輸便不人民勉勵物産多寡風俗淳云々ノ郡柄ニ有之

候

一本郡何村字何地開墾ノ儀何村何某ヨリ別紙第何號ノ通願出候處

何村一同ヨリ別紙第何號ノ通申立云々ノ事情有之ニ付別紙第何

號ノ通縣廳へ及稟申置候處未々指令無之前途云々ノ見込ニ有之

候

一經費出納勘定ノ儀ハ何年何月ヨリ何月迄ノ分勘定表ヲ整理シ縣

廳へ差出置候尤當季ノ分ハ別紙仕譯書ヲ以テ殘金及御引渡候

右ノ件々及演說候也

年號月日

何郡長氏名殿

舊何郡長氏

名印

○第四款 郡長掌管權限

第六拾六條 郡長掌管及特任ノ條件

○明治十二年六月五日滋賀縣甲第四拾九號布達

甲第三十二號
布達ハ第四十
三條ニ出

今般甲第三拾二號ヲ以テ郡制施行候ニ付テハ郡長掌管ノ條件及ヒ
分任スル條件左ノ通ニ候條追テ郡役所開廳ノ上ハ右ニ係ル願伺届
ハ總テ郡長名宛ヲ以テ本郡役所へ可差出其他ハ從前ノ通縣令名宛
ヲ以テ郡役所ヲ經由シ可差出此旨布達候事

但警察本分署及監獄署等へ差出シ來候分ハ從前ノ通タルヘキ事

○ 郡長掌管ノ條件

第一 徵稅并ニ地方稅徵收及不納者處分ノ事

第二 徵兵取調ノ事

第三 身代限リ財產取扱ノ事

第四 逃亡死亡絶家ノ財產取扱ノ事

第五 官有地ノ倒木枯木ヲ賣却スル事

第六 電信道路田畑水利ニ障碍アル官有樹木ヲ伐採スル事

第七 河岸地借地檢査ノ事

第八 職遊獵願威銃願ノ事

第九 印紙對紙賣捌願ノ事

第十 小學校學資金ノ事

特ニ分任ノ條件

第一 社寺修繕願ノ事

但官國幣社ノ修繕ハ此限ニ非ス

第二 縣鄉村社以下ノ祭式ヲ變更シ及祭日改定願ノ事

第三 改宗離附檀届ノ事

第四 士族民籍編入願ノ事

- 第十三年八月十七日滋賀縣甲第百四號布達ヲ以テ第十一項へ但書追加其布達ハ後ニ出
- 第五 原籍調査ノコ
 - 第六 改氏名願ノコ
但華族并奏任官以上ハ此限ニ非ス
 - 第七 絶家再興及分家願ノコ
 - 第八 戸籍訂正願ノコ
 - 第九 逃亡入届ノコ
 - 第十 編籍願ノコ
 - 第十一 戸主復籍及其家名ヲ廢シ他へ入夫縁附或ハ養子女トナリ及遺子ナキ寡婦へ後夫ヲ迎フル願ノコ
 - 第十二 諸船鑑札及檢印願ノコ
但西洋形ノ諸船ハ此限ニ非ス
 - 第十三 諸船賣買及解船届ノコ
但西洋形ノ諸船ハ此限ニ非ス

官制

- 十三年十一月二日滋賀縣丙第七十四號達ヲ以テ第十九項ヲ删除シ十四年六月十三日滋賀縣丙第四十二號及同日同丁第十二號達ヲ以テ第二十項ノ但書ヲ删除シ同年十二月二十八日同丙第九十七號達ヲ以テ更ニ同項へ但書ヲ追加
- 第十四 酒類營業願ノコ
 - 第十五 煙草營業願ノコ
 - 第十六 牛馬賣買鑑札願ノコ
 - 第十七 免稅車船願ノコ
 - 第十八 度量衡檢査ノコ
 - 第十九 酒類釀造石數檢査ノコ
但清酒ハ此限ニ非ス
 - 第二十 地方稅ニ屬スル諸營業願ノコ
但藝妓營業願ハ此限ニ非ス
 - 第二十一 官地ニ生スル木實草類賣却ノ事
 - 第二十二 官地ニ露店取設願ノコ
 - 第二十三 民有地社寺境内伐木願ノコ
 - 第二十四 民有ノ堤防仕用料査定及徵集ノコ

十五年一月
十一日同丙第
二號達ヲ以テ
第二十二項へ
但書ヲ追加ス
其達ハ後ニ出

十三年四月二
十八日滋賀縣
甲第四十四號
布達及同日同
丙第二十四號
達ヲ以テ第二
十九項ヲ別除
シ十四年六月
三十日同甲第
九十六號布達
ヲ以テ第三十
一項ヲ別除ス
其達ハ後ニ出

- 第二十五 諸拂下物代金并借地料及賦金等徵集ノ
- 第二十六 町村協議費ヲ以テ養惡水路溜池井堰樋管等新設變更ノ
節實地檢査ノ
- 第二十七 町村協議費ヲ以テ里道以下ノ道路橋梁及養惡水路溜池
樋井堰等修繕届ノ
- 第二十八 公立學校名稱及位置變更届ノ(第四百六拾八條ニ
滋賀縣甲第四百拾號布達町村立私立小學
校設置廢止規則第二條第七條參看スヘシ)
- 第二十九 私立學閉届ノ
- 第三十 公立學校新築届ノ(第二十八項ノ註
文參看スヘシ)
- 第三十一 教育會議開届ノ
- 第三十二 賣藥請賣及行商願ノ
- 第三十三 開墾地檢査ノ
- 第三十四 地目變換ノ

第三十五 藥用阿片拂下ノ

十三年十月七日滋賀縣丙第七拾號達ヲ以テ一月十日同丙第四拾二
號達及同日同丁第二拾貳號達同以テ八月二十日同丙第七拾二
號布達及同日同丙第六拾五號達同以テ八月二十日同丙第七拾二
同丙第六拾七號及同日同丙第六拾五號達同以テ八月二十日同丙第七拾二
一、項追加同丁第七號同丙第七拾三號達同以テ八月二十日同丙第七拾二
二、項追加同丁第七號同丙第七拾三號達同以テ八月二十日同丙第七拾二
日第六拾三號布達及同日同丁第八號同丙第七拾三號達同以テ八月二十日同丙第七拾二

○明治十二年六月四日滋賀縣第四百貳拾六號達別紙ハ前ニ職スルニ在ルニ依リテ
別紙ノ條件分任候條此旨相違候事

○明治十三年四月二十八日滋賀縣甲第四拾四號布達
昨明治十二年六月甲第四拾九號布達郡役所職務條例郡長分任事目中
第貳拾九條證讀ノ次第有之自今本廳於テ取扱候條縣令名宛ヲ以テ
可差出此旨布達候事

郡役所職務條
例ノ七字原文
ノマ、恐クハ
衍文ナラン
十二年甲第四
十九號布達ハ
前ニ出ツ

甲第四十四號
布達及ヒ分任
事目ハ前ニ出

○明治十三年四月二十八日滋賀縣丙第貳拾四號達所^{郡役}
今般甲第四拾四號布達候ニ付テハ郡長分任事目中第貳拾九條削除
候條此旨相達候事

十二年甲第四
十九號布達ハ
前ニ出ツ

○明治十三年八月十七日滋賀縣甲第百四號布達
昨十二年甲第四十九號ヲ以テ及布達候郡長分任事目第十一項へ左
ノ通但書追加候條此旨布達候事

○ 但家名ヲ廢シ家族携帶スベキ分ハ此限ニアラス

郡長分任事項
ハ前ニ出ツ

○明治十三年十月七日滋賀縣丙第七拾號達所^{郡役}
昨十二年^月戊第四百二十六號ヲ以相達候郡長分任事項へ左ノ通追
加候條此旨相達候事

○ 替麴營業願ヲ許否スルコト

郡長分任條件
ハ前ニ出

○明治十三年十一月二日滋賀縣丙第七拾四號達所^{郡役}
郡長分任條件中酒類醸造石數檢査ノ事項ハ詮議ノ次第有之自今右
分任相解候條此旨相達候事

郡長分任條件
ハ前ニ出

○明治十四年一月二十日滋賀縣丙第四號達所^{郡役}
郡長分任條件中左之一項追加候條此旨相達候事

○ 一 備荒公儲金ヲ徵收スル事

郡長分任條件
ハ前ニ出○郡
役所職務條例
ハ第六十三條
ニ出

○明治十四年六月十三日滋賀縣丙第四拾貳號達所^{郡役}
明治十二年戊第四百二十六號ヲ以テ相達候郡長分任條件第二十條
但書ヲ刪除シ左ノ一項追加候條此旨相達候事
但本文事務報告ノ儀ハ郡役所職務條例第貳章第拾八條之通可心
得候事

郡長分任條件
ハ前ニ出警察
本署章程ハ第
五十三條ニ出

一貸座敷及ヒ娼妓營業願ヲ許否スルコ
○明治十四年六月十三日滋賀縣丁第貳拾貳號達課警郡役所
郡長分任條件中第二十條但書ヲ刪除シ左ノ一項増加シ警察本署章
程下款第九條刪除候條此旨相達候事

一貸座敷及ヒ娼妓營業願ヲ許否スルコ

○明治十四年六月三十日滋賀縣甲第九拾六號布達

十二年甲第四
十九號布達ハ
前ニ出

明治十二年六甲第四拾九號布達郡長ヘ特ニ分任ノ條件中第三十一
條ヲ削除シ該事務ハ自今當廳ニ於テ取扱候條此旨布達候事

○明治十四年七月一日滋賀縣丙第四拾九號達郡役所ヘ

郡長分任事項
ハ前ニ出ツ

郡長分任事項ノ内ヘ左ノ一項増加候條此旨相達候事

一陸軍下士以下宿村繼遞送之節直ニ所管ヘ照會之事

十二年甲第四
十九號布達ハ
前條

○明治十四年八月二十五日滋賀縣甲第百三拾貳號布達
明治十二年甲第四十九號布達郡長分任條件ヘ左ノ一項追加候條此
旨布達候事

一養子嗣養孫ノ承孫離縁願ヲ處分スルコ

但徵兵年齡已後ノモノニシテ癡疾又ハ不具ニ係ル分ハ此限ニ
非ス

○明治十四年八月二十五日滋賀縣丙第六拾五號達郡役所ヘ
郡長分任事項ヘ左ノ一項追加候條此旨相達候事

一養子嗣養孫ノ承孫離縁願ヲ處分スルコ

但徵兵年齡以後ノモノニシテ癡疾又ハ不具ニ係ル分ハ此限ニ
アラス

十二年甲第四十九號布達ハ前ニ出ツ○十四年十月二十一日滋賀縣甲第百六十八號布達ヲ以テ(第二章)ヲ(第三章)ト改ム其布達ハ後ニ出○備荒儲蓄金處分規則ハ第五百六十七條ニ出
 郡長分任事項ハ前ニ出○十四年九月二十一日滋賀縣丙第百六十八號布達ヲ以テ給與金探替方ヲ示ス其達ハ第五百六十一條ニ出

○明治十四年九月二十一日滋賀縣甲第百五拾壹號布達
 明治十二年甲第四十九號布達郡長分任條件ヘ左ノ一項追加候條此旨布達候事

○
 一 備荒儲蓄金處分規則第二章ニ當ル救助願ヲ處分スル
 ○明治十四年九月二十日滋賀縣丙第百六拾七號達郡役
 明治十二年戊第四百二十六號達郡長分任事項ヘ左ノ一項追加候條此旨相達候事

○
 一 備荒儲蓄金處分規則第二章ニ當ル救助願ヲ處分スル(十四年十二月)
 日滋賀縣甲第百六十八號布達ヲ以テ(第二章)ヲ(第三章)ト改ム其布達ハ後ニ出ツ
 ○明治十四年九月二十七日滋賀縣丙第百七拾三號達郡役
 郡長分任事項ヘ左ノ一項追加候條此旨相達候事

甲第百五十六號布達ハ第五百六十七條ニ出甲第百五十一號布達ハ前ニ出ツ
 郡長分任條件ハ前ニ出ツ

○
 一 營廻營業取締ノ
 ○明治十四年十月二十二日滋賀縣甲第百六拾八號布達
 本年甲第百五十六號布達ヲ以テ備荒儲蓄金處分規則改正候ニ付テハ本年甲第百五拾壹號布達中備荒儲蓄金處分規則第二章云々トアルハ第三章ト改正候條此旨布達候事
 ○明治十四年十二月二十八日滋賀縣丙第百九拾七號達郡役
 明治十二年戊第四百二十六號ヲ以テ相達置候郡長分任條件第二拾條ヘ左ノ通但書ヲ追加候條此旨相達候事

第二十條 地方税云々
 但別段ノ達アルモノハ此限ニアラス
 ○明治十五年一月十一日滋賀縣丙第百貳拾號達郡役

郡長分任條件
ハ前ニ出ツ

明治十二年戊辰第四百二十六號ヲ以テ相違置候郡長分任條件第二十條へ左ノ通但書追加候條此旨相違候事

第二十二條 官地ニ露店云々

但道路ニ露店ヲ設クルハ此限リニアラス

○明治十五年二月二十四日滋賀縣丁第四號達課置郡役所

郡長分任事目中へ左ノ件々追加候條此旨相違候事

郡長分任事項
ハ前ニ出

一 病屍解剖願ノ事

一 藥種商按摩按腹針灸治齒拔棋針吸角等營業願ノ事

一 屠場落成檢査ノ事

一 牛馬肉小賣出賣願ノ事

一 氷雪卸小賣行商願ノ事

一 牛乳請賣願ノ事

一 賣藥部外藥劑請賣行商願ノ事

○明治十五年三月十八日滋賀縣甲第六拾三號布達

十二年甲第四
十九號布達ハ
前ニ出

明治十二年^六本縣甲第四十九號布達郡長分任條件へ左ノ一項追加候條自今祖父母父母送籍候節ハ戶籍書ノ寫ヲ添付シ親戚二人以上連署ノ上所轄郡役所へ可願出此旨布達候事

一 祖父母父母送籍（退隱セシ祖父母母他ノ養子女トナリ又ハ元願他ヨリス籍セシモノニシテ生家へ復籍ノ類）

ヲ許否スルコト

○明治十五年三月十八日滋賀縣丁第八號達課置郡役所

郡長分任條件へ左ノ一項追加自今分任候條此旨相違候事

一 祖父母父母送籍（退隱セシ祖父母母他ノ養子女トナリ又ハ元願他ヨリス籍セシモノニシテ生家へ復籍ノ類）

郡長分任條件
ハ前ニ出

郡長分任事項
ハ前ニ出ツ

許可スルヲ

○明治十五年五月五日滋賀縣丁第拾壹號達課署郡役所、
學校公立病院へ
郡長分任事項中へ左ノ一項追加候條此旨相達候事

一民有地ニ建置アル電信柱敷地手當ヲ調査スルヲ

第六拾七條 郡長掌管條件第五項官有地ノ損木處分心得方

○明治十四年四月九日滋賀縣丙第貳拾三號達部へ

官有地損木之儀ニ付今般別紙之通内務卿ヨリ訓示有之候條自今一層注意處分可致此旨相達候事

別紙

官有地之倒木枯木ヲ郡區長ニ於テ賣却スルヲ得ルハ明治十一年第三拾貳號達府縣官職制郡區長職務中ニ掲載有之候處抑枯損木處分之儀ハ天然枯死又ハ燒木又ハ天災之爲メ倒折等ニ罹リ到

十一年第三十
二號達ハ大政
官ノ達ナリ民
事成文律類纂
第三編第二十
七條ニ出ツ但

郡長職務條件
ハ本編第六十
六條ニ載スル
十二年滋賀縣
甲第四十九號
布達ニモ出○
後ニ載スル十
四年内務省七
第五拾五號達
參看スヘシ

底蘚息ノ見据無之且家屋道路及耕地等へ轉倒シ又ハ轉倒セントシテ危險之憂有之直接ニ公衆或ハ各人ノ障害トナリ瞬時モ難差置モノハ郡區長ニ於テ適宜處分スルヲ得ルモ必スシモ枯損木ハ悉皆處分不致而ハ不相成トノ儀ニハ無之ニ付音ニ樹頭及枝葉等枯損スルモ未メ該木ノ死活ニ關係無之者ニ至ル迄一同枯損木ト見做シ人民ニ於テ排下出願候様成行候テハ夫ガ爲メ將來弊害ヲ醸生シ不都合不尠將又縱令枯損木ト雖モ伐採之節掛リ木等ノ爲メ往々他生木ヲ損傷候事有之候條右等之類其他或ハ官林境界之目標共可相成立木ノ如キハ其損木ト土地之景況ニ依リ目下危險之憂無之モノハ排下出願候共可成の存置之積相心得向後枯損木處分ニ際シ一層注意ヲ加ヘ篤ト實地之景況取調不都合無之様處分可致旨兼テ郡區長ニ可達置候此段爲心得及訓示候也

明治十四年四月四日

内務卿 松方正義

官制

滋賀縣令籠手田安定殿

〔參〕

明治十四年十一月十六日內務省農商務乙第五十五號達府縣

十一年第三十二號公達ハ太政官ノ達ナリ但民事成文律類纂第三編第二十七條ニ出

明治十一年七月第三拾貳號公達府縣官職制中郡區長ニ於テ處分スヘキ條目第五項ニ掲載有之倒木枯木云々ハ天災ノ爲ニ轉倒シタル者及ヒ天然枯死之者ニ相限リ候儀ニシテ其枝條若クハ樹幹ノ幾分ヲ枯凋シタル損木ノ如キハ本項ニ含蓄セザル儀ト可心得此旨相達候事

第六拾八條 郡長掌管條件第七項河岸地借地檢査權限ノ事

客歲第三十二

○明治十二年十月十五日滋賀縣丙第百六拾壹號達郡役

號公達ハ太政官ノ達ニシテ本縣ノ達ニアラズ故ニ本編之ヲ登錄セス但民事成文律類纂第三編第二十七條ニ出

客歲第三十二號公達府縣官職制中郡區長ニ於テ處分シテ後報告スルヲ得ル件々ノ内第七河岸地借地檢査ノ事トアルヲ以凡ソ官有地拜借ヲ願出ルトキハ郡役所ニ於テ實地檢査致來候處自今森林ニ係ル官有地檢査ハ別ニ主務官吏ヲ出張セシメ候條爲心得此旨相達候

事

第六拾九條

郡長特任條件第貳拾六項協議費ニ係ル養惡水路等新設變更出願ノ節取扱方

○明治十二年六月十日滋賀縣戊第四百七拾壹號達郡役

町村協議費ヲ以テ養惡水路溜池井堰樋管等新設變更出願ノ節ハ先ツ實地ニ臨ミ其起工ヲ要スル事由該地ノ地景起工ノ利害得失他ニ障害ノ有無ヲ審查シ詳細其顛末ヲ記載シタル該事業可否ノ意見書ヲ副ヘ本願書ヲ進達可致此旨相達候事

但起工ヲ可ト認ムルモノハ該工項目論見帳二冊潰地ニ關スルモノハ潰地一筆限帳二冊各地主押印現地并近傍景况明瞭ナル縮圖壹葉ヲ調製セシメ本願書ト俱ニ進達可致事

第七拾條 地券下與及ヒ書換ノ事務取扱ノ事

○明治十二年六月十四日滋賀縣戊第五百貳拾六號達郡役

(本文ハ第貳百七拾三條ニ出)

○明治十三年四月十五日滋賀縣甲第三拾三號布達

(本文ハ第貳百七拾貳條ニ出)

○明治十三年五月四日滋賀縣本局付屬通知

(本文ハ第貳百七拾壹條ニ出)

○明治十三年四月十五日滋賀縣丙第拾八號達所^郡役

(本文ハ第貳百七拾三條ニ出)

第七拾壹條 町村ノ積立ニ係ル社倉米金及ヒ備荒金穀ノ事務取扱

ノ事

○明治十二年六月十六日滋賀縣丙第百七號達所^{戶長}

從前各町村ニ於テ積立居候社倉米金并明治十年乙第貳拾七號ヲ以テ及布達候備荒金穀積立ニ係ル諸申牒ノ儀ハ以來郡役所ニ於テ爲取扱候條該郡長名宛ヲ以テ同所ヘ可差出此旨相達候事

十年乙第二十
七號布達ハ第
五百六十四條
ニ出

○明治十二年六月十六日滋賀縣戊第五百三拾三號達所^郡役

從前各町村ニ於テ積立居候社倉米金并明治十年乙第二十七號ヲ以テ及布達候備荒金穀積立ニ係ル諸申牒ノ儀ハ以來郡役所ニテ受テシ職務條例第二章第十八條ニ依リ毎月取纏報告可致此旨相達候事

第七拾貳條 行旅病人原籍ヘ遞送事務取扱ノ事

○明治十二年六月十一日滋賀縣戊第四百八拾貳號達所^郡役

(本文ハ第百六條ニ出)

第七拾三條 鐵道用材ノ爲メ調査濟ノ樹木伐採願處分ノ事

○明治十二年七月十七日滋賀縣戊第七百貳拾壹號達所^{近江國郡}

(本文ハ第百七條ニ出)

十年乙第二十
七號布達ハ第
五百六十四條
ニ出○職務條
例ハ第六十三
條ニ出

○第五款 戶長役場第九款

第七拾四條 郡制施行ニ付戶長改置等ノ事

○明治十二年五月十六日滋賀縣甲第三拾四號布達

今般甲第三拾貳號ヲ以テ郡制施行候旨及布達候ニ付テハ左ノ通可
相心得此旨布達候事

○ 一副戶長一般相廢シ候事

一 一町村ニ二名以上ノ戶長有之向ハ其町村ノ協議ニヨリ一名ト取
極メ來ル六月十五日限り可申出事

一 若狹國及ヒ越前國敦賀郡戶長ノ儀ハ從前ノ通り數町村聯合受持
不苦候事

一 近江國ニ於テモ右同様數町村聯合ニテ戶長壹名撰舉候儀不苦ニ
付聯合致度向ハ來ル六月十五日マテニ可申出事

甲第三十二號
布達ハ第四十
三條ニ出

十四年二月七
日若越四郡福
井縣ノ管轄ニ
屬ス

十二年六月三
日滋賀縣丙第
九十二號達ニ
依テ第五項本
文中戶數以下
ノ十四字消滅
ス其達ハ第二
百四十九條ニ
出

本年甲第三十
四號布達ハ前
ニ出ツ○十二
年八月十三日
滋賀縣甲第百
一號布達ヲ以
テ取消ス其布
達ハ第七十九
條ニ出

一 六月三十日マテノ戶長給料ハ總テ從前ノ通支給可致七月一日以
降ノ給料ハ戶數七分地價三分ノ割合ヲ以テ地方稅ヨリ支給候儀
ト可相心得事

但數町村聯合シテ戶長一名ヲ置クモノハ各町村へ配當ノ合算
高ヲ配賦候事十二年七月十一日滋賀縣甲第七拾八號布達ヲ以
テ但書中改正シ從同年八月十三日同甲第百一號
布達ヲ以テ甲第七拾八號布達ハ後ニ出甲第百壹號布達ハ附點ヲ付セ
ス但甲第七拾八號布達ハ後ニ出甲第百壹號布達ハ附點ヲ付セ
出ニ

○考參 明治十二年七月十一日滋賀縣甲第七拾八號布達

本年甲第三十四號布達第五項但書中左ノ通改正候條此旨布達候事

云々各町村へ配當ノ合算高ノ七字ヲノ地價戶數ヲ統計シ其額ニ相
當スル金額ト改ム
第七拾五條 戶長缺員ノ時臨時代理人ノ事

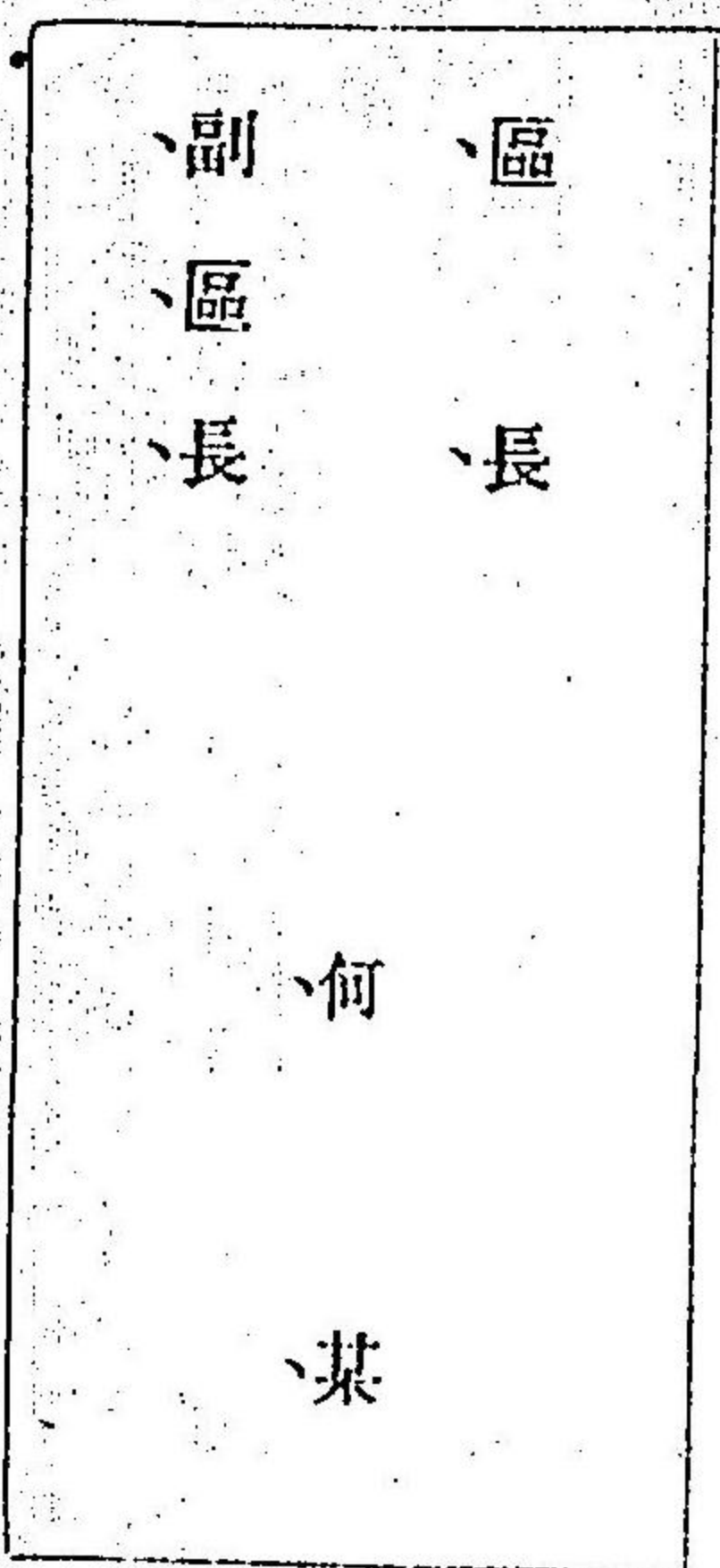
丙第八拾號達
ハ第七十九條
ニ出

十二年五月十
六日滋賀縣甲
第三十三號布
達ヲ以テ區長
ヲ廢ス○十二
年五月十六日
滋賀縣甲第三
十四號布達ヲ
以テ副戶長ヲ
廢ス其布達ハ
第七十四條ニ
出

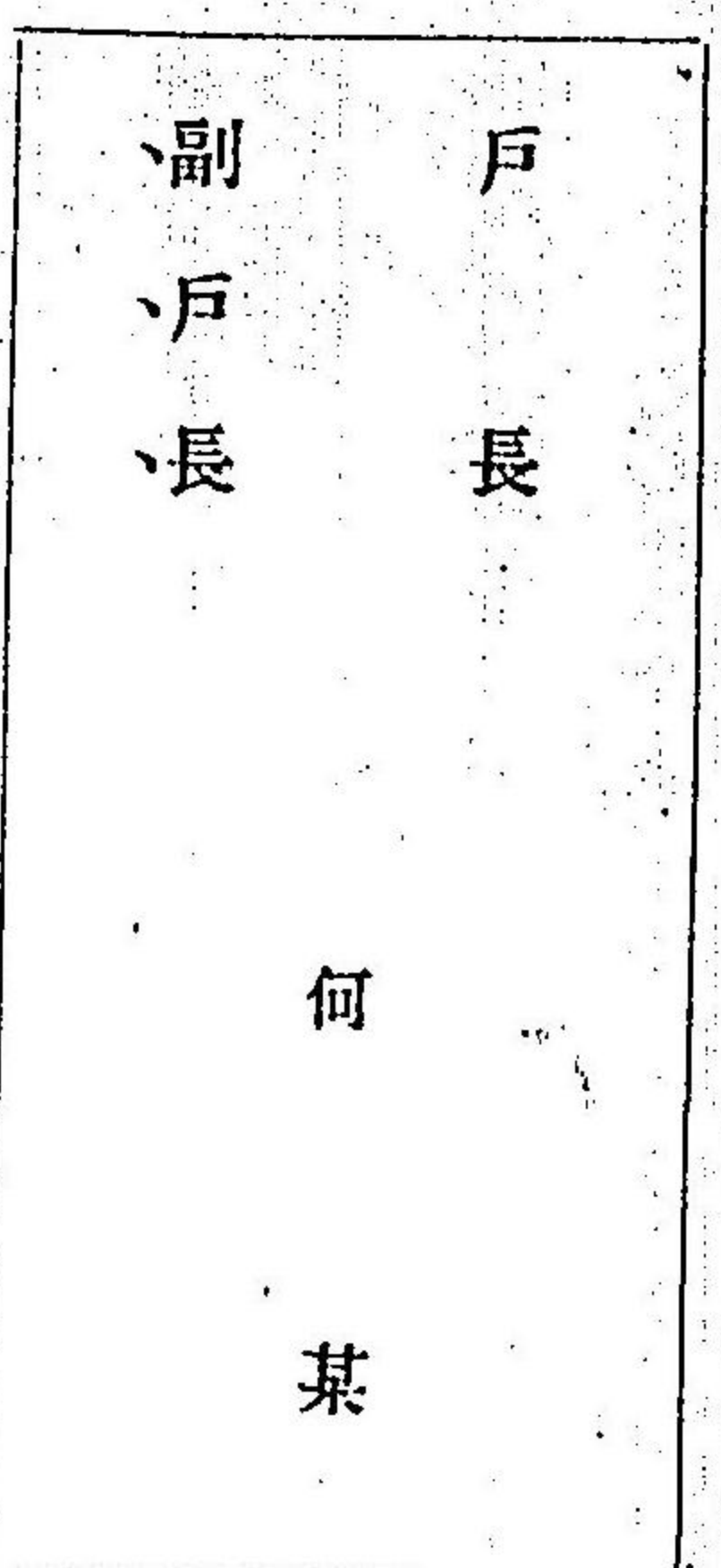
○明治十二年六月六日滋賀縣丙第九拾七號達^{戶長}へ
今般丙第八拾號ヲ以テ戶長職務條例相達候ニ付^ハ戶長役場書役
ヲ置カザル町村ニ於テ戶長欠員ノトキハ郡長ヨリ臨時代理人ヲ命
シ一切ノ事務ヲ處辨セシムベク候條此旨相達候事

第七拾六條 戶長私宅門標雛形
○明治十年九月十五日滋賀縣丙第百五拾壹號達^{區長}へ^戶
自今區戶長私宅ニ左ノ雛形通門標相掲クヘク此旨相達候事

豎 七寸
横 貳寸七分

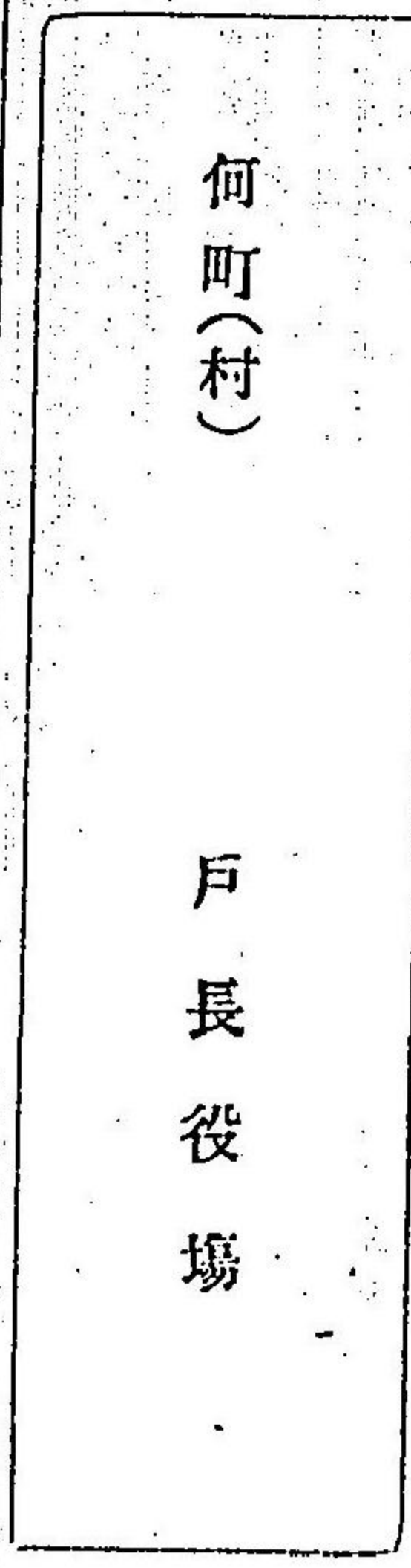


同 前



第七拾七條 戶長役場ノ門牌雛形
但シ木標

○明治十二年五月十六日滋賀縣丙第八拾五號達^{戶長}へ
戶長役場ノ儀左ノ雛形ノ通リ門牌掲示可致此旨相達候事
○一町村ノ分



官制

數町村聯合ノ分

何町
何村

戸長役場

○第六款 戸長職務

第七拾八條 戸長職務概目

○明治十二年五月十六日滋賀縣丙第八拾三號達
戸長職務概目別紙之通被相定候條此旨相達候事
別紙

戸長職務ノ概目

- 第一 布告布達ヲ町村内ニ示ス事
- 第二 地租及諸税ヲ取纏メ上納スル事
- 第三 戸籍ノ事
- 第四 徴兵下詔ノ事
- 第五 地所建物船舶質入書入并ニ賣買ニ與書加印ノ事
- 第六 地券臺帳ノ事
- 第七 迷子捨兒及ヒ行旅病人變死人其他事變アルトキハ警察署

官制

ニ報知ノ事

第八 天災又ハ非常ノ難ニ遭ヒ目下窮迫ノ者ヲ具狀スル事

第九 孝子節婦其他篤行ノ者ヲ具狀スル事

第十 町村ノ幼童就學勸誘ノ事

第十一 町村内ノ人民ノ印影簿ヲ整置スル事

第十二 諸帳簿保存管守ノ事

第十三 官費府縣費ニ係ル河港道路堤防橋梁其他修繕保存スヘ

キ物ニ就キ利害ヲ具狀スル事

右ノ外府知事縣令又ハ郡區長ヨリ命令スル所ノ事務ハ規則又ハ

命令ニ依テ從事スヘキ事

其他町村限り道路橋梁用惡水ノ修繕掃除等凡ソ協議費ヲ以テ支

辨スル事件ヲ幹理スルハ此ニ掲クル所ノ限ニ在ラス

第七拾九條 戸長職務條例

○明治十二年五月十六日滋賀縣内第八拾號達^{戸長}

戸長職務條例別冊之通相定メ來七月一日ヨリ施行候條此旨相達候

事

別冊

戸長職務條例

第一章 職務規程

第一條 戸長ハ左ノ二様ノ職務ヲ行フモノトス

一 行政官吏トナリ縣令又ハ郡長ノ命令ヲ奉シ町村行政ノ事務ヲ

掌ル

一 町村ノ理事者トナリ其事務ヲ幹理スル

第二條 戸長ニ屬スル書役ハ郡長ノ許可ヲ得戸長之ヲ命スルモノ

トス

但書役ハ每町村置ヲ必トセス

官制

第十七條ニ
載スル十二年
六月六日滋賀
縣内第九十七
號達參看スヘ
シ

第三條 書役ハ戸長ノ指揮ニ從ヒ計算抄寫等ノヲ掌リ戸長事故
アルトキハ一切ノ事務ヲ代理スルヲ得

但書役ヲ置サル町村ニ於テハ臨時代理人ヲ定メ一切ノ事務ヲ
處辨セシメ其旨郡役所ヘ届出ヘシ

第四條 戸長ハ掌管ノ事務ニ就キ他府縣戸長役場ヘ文書ヲ往復ス
ルヲ得

第五條 戸長書役等第一條第一項ノ事務ニ付三里以上ノ地ヘ出張
セントスルキハ其事由ヲ具シ郡長ノ許可ヲ請クベシ

但時機緊急ノ場合ニ於テハ先ツ出張シ然ル後具申スルヲ得
第六條 戸長第一條第二項ノ事務ニ付出張及私事ノ旅行ハ其都度
郡役所ヘ届出ヘク尤十日以上ニ及フキハ郡長ノ承認ヲ受クヘシ

但書役同様ノ節ハ戸長ニ於テ許可スルモノトス
第七條 書役ノ戸長代理タル場合ニハ一身ニ關スル願伺届等總テ

戸長同様郡役所ヘ差出スヘシ

第二章 庶務取扱心得

第八條 職務概目ニ載スル事件ハ常ニ詳細取調置縣廳又ハ郡役所
ヨリ取調ヲ命スルキハ速ニ整頓スヘキ様注意シ其意見アルモノ
ハ縣廳又ハ郡役所ヘ開申スヘシ

第九條 郡役所ヨリ頒布スル諸布告達ハ遺漏ナク町村内ヘ回示シ
其了解スルヲ能ハサル者ヘハ相當ノ方法ヲ設ケ懇篤説明スヘシ
第十條 町村内人民ヨリ縣廳又ハ郡役所ヘ差出ス願伺届等ニハ必
奥書証印スヘシ

但別段ノ成規アルモノハ此限ニアラス

第十一條 前條願伺届等ノ不都合ナルモノハ一應説諭ヲ加ヘ改正
セシムルモ妨ケナシト雖モ夫ガ爲メ奥書証印ヲ拒ムヘカラス
但所見アルモノハ其旨趣別紙ヲ以テ縣廳又ハ郡役所ヘ開申ス

ヘシ

第十二條 諸官廳へ稟申スル文書及ヒ人民ノ願伺届等ノ與書ハ總テ戸長ノ名印ヲ用ヒ他ノ町村役場へノ照會書及町村内回達等ニハ役場ノ名印ヲ用フヘシ

第十三條 町村内人民ノ死生出入等ハ洩ナク取調成規ノ通戸籍ヲ整理スヘシ

第十四條 地所建物船舶等ノ質入書入等ノ公証ヲ乞フ者アルトハ篤ト事實ヲ取糾シ然ル後與書割印スヘシ假令何用ノ事情アル者ト雖モ法ニ適セザルモノハ一切公証スヘカラス

第十五條 地方税及町村協議費各戸出金ノ乘率ヲ定メ其他町村限リノ土木起功共有物取扱水防火防田野山林取締凶荒豫備等ノ全町村ニ關スル事件ハ總テ全町村ノ協議決定スル所ニ從ヒ取扱フヘシ

但會議開設ノ町村ニ於テハ議會ノ決定スル所ニ從フベシ

第十六條 戸長役場ノ帳簿ハ適宜編製スルヲ得ルト雖モ就中左ニ記列スル簿冊ハ必ス備ヘ置クヘシ

- 一 諸布告達編冊
- 一 戸籍簿
- 一 印鑑簿
- 一 公証割印簿
- 一 徴兵下調簿
- 一 國民軍名簿
- 一 學齡人名簿
- 一 地券臺帳
- 一 地租收入簿
- 一 國稅收入簿

一 地方稅收入簿

一 諸車臺帳

一 諸船臺帳

一 戶長役場定額金受拂簿

一 協議費取立簿

一 同 受拂帳

第十七條 戶長役場諸帳簿ノ檢閲ヲ要スル者アルキハ速ニ檢閲セシメ若シ不審ノ廉アリテ質問スルキハ懇篤説明スヘシ故ナク檢閲ヲ拒ミ又ハ説明ヲ辭スルコトヲ得ス

第十八條 戶長轉任又ハ免職ノ節ハ從前取扱ノ諸帳簿金錢物品等明細仕譯書ヲ作り新舊戶長受渡ノ証書ヲ交付スヘシ新任戶長ニ於テ引渡事件ノ内不都合ノ廉アリテ引受ケ難キキハ其事情ヲ詳ニシ郡長ノ指揮ヲ乞フヘシ

十四年四月二日
滋賀縣丙第
二十一號達ヲ
以テ第十九條
第二十條ヲ改
正ス其達ハ後
ニ出

第三章 出納事務取扱心得

第十九條 會計ノ一周年度ハ七月一日ヨリ翌年六月三十日マテトシ其第一季ハ毎三ヶ月トス故ニ此期限ヲ以テ精算ヲ遂クヘシ

第二十條 戶長以下ノ俸級及諸費支解スルキハ地方稅ヲ以テ精算ヲ遂クヘシテ前月中縣廳ヨリ郡役所ヲ經由シテ下附スベシ

第二十一條 戶長役場ノ諸費ハ左ノ科目ニ從ヒ地方稅ニ係ルモノト協議費ニ係ルモノトヲ區分シ各費途ニヨリ支辨スルモノトス

一 需用費 兩費折半

但筆紙墨薪炭油机硯書函挑灯蠟燭等ノ類

一 旅費 行政事務ニテ出張スル分ハ地方稅ヲ以テ支給シ其他ノ分ハ協議費ニテ支辨スヘシ

一 郵便稅 其事柄ニ因リ前項ニ準シ兩分スヘシ

一 臨時備夫賃 同上

第二十二條 町村協議費ヲ以テ支辨スヘキ費目概子左ノ如シ

一 學校ニ係ル諸費
 一 町村限土木ニ係ル諸費
 一 用悪水路等ニ係ル諸費
 一 水防火防ニ係ル諸費
 一 田野山林ノ看守人及井堰守等ニ係ル諸費
 一 埋葬地火葬場ニ係ル諸費
 一 共有物ニ係ル諸費
 一 全町村ニ係ル訴訟費
 一 町村會ニ係ル諸費

第二十三條 第二十二條ニ記列スル費目ノ外社寺營繕神佛祭典雨乞虫送等ノ諸費ハ該事關係ノ者ニテ負擔シ全町村ノ協議費ヲ以テ支辨スル限ニアラス故ニ戸長役場ニハ關係ナキモノトス但該事關係人ヨリ取扱方別段ノ依頼ヲ受ルモノハ役場ニ於テ

十四年四月二日滋賀縣丙第二十一號達ヲ以テ第二十四條ヲ改正ス其達ハ後ニ出

十四年四月二日滋賀縣丙第二十一號達ヲ以テ第二十六條ヲ改正ス其達ハ後ニ出

取扱フモ妨ケナシト雖モ一般ノ費目ト判然區別シ混淆スベカラス

第二十四條 戸長以下ノ俸給其他一切ノ諸費ハ毎季計算ヲナシ別紙書式ニ據リ勘定表三葉ヲ製シ翌月十日迄ニ郡長ノ檢閲ヲ受クハシ

第二十五條 郡長ニ於テハ前條勘定表三葉ノ内一葉ヲ縣令ニ出シ一葉ヲ郡役所ニ止メ置一葉ヲ戸長ニ下附スヘシ戸長ニ於テハ之ヲ其役場ニ保存シ別ニ寫一葉ヲ製シ三十日間其門前ニ揭示スヘシ

第二十六條 役場ノ經費ハ前季ノ有餘ヲ以テ後季ノ不足ヲ補フハ妨ナシト雖モ年度ノ末ニ至リ假令不足ヲ生スルモ別ニ下渡サバ、ルベシ故ニ有餘アルモ返納ニ及バザルモノトス

第二十七條 諸税ノ徵收ハ規則ニ據リ精確取扱フベシ決シテ役場

十二年七月十一日滋賀縣丙第百二十六號達ヲ以テ第二十八條中ヲ改正シ復同年八月十三日同甲第百一號布達ヲ以テ丙第百二十六號達ヲ取消ス故ニ改正ノ符點ヲ附セテ十四年四月二日同丙第百二十一號達ヲ以テ本條及ヒ第二十九條中ノ條給ヲ給料ト改ム其達ハ後ニ出ツ

ノ諸費ト混淆流用スヘカラス
 第二十八條 敷町村聯合シテ戸長役場ヲ設置スル場合ニ於テハ戸長以下ノ俸給及ヒ役場ノ諸費ハ各町村ニ分配スヘキ額ヲ合算下附スヘシ尤協議費ヲ以テ支辨スヘキ諸費ハ一町村限區別スルカ又ハ聯合町村合算スルカ聯合町村ノ協議ニ任スヘシ
 第二十九條 戸長以下ノ俸給旅費ヲ始メ總テ支出スル所ノモノハ必受領証書ヲ領收シ渡帳アルハ該帳ニ而シテ各費目分類編集シテ後照ニ供スヘシ

明治何年 自何月何日 何郡何村 地方稅費勘定表	
入	出
摘要	摘要
員	員
金	金
員	員

十四年四月二日滋賀縣丙第百二十一號達ヲ以テ表中改正其達ハ後ニ出

▲原本朱字

前月越高	萬千百十圓十錢厘
前月例請取高	
戸長給料	
小使給料	
旅費	
需用費	
郵便費	
臨時備夫賃	
何々々	
何々々	
何々々	
▲差引殘金翌月へ越高	
合計	萬千百十圓十錢厘

何郡何村戸長何某

十二年丙第八十號達ハ前二出

明治十二年五月丙第八十號達中左ノ通改正候條此旨相達候事

但勘定表書式中(明治何年自何月)ノ裕字ヲ(自明治何年七月)ニ改メ(前月)越高ヲ(前年度)ト改正候事

別紙 第三章

第十九條 會計ノ一周年度ハ七月一日ヨリ翌年六月三十日マテトス故ニ此期限ヲ以精算ヲ遂ク可シ

第二十條 戸長以下ノ給料及諸費出スヘキ分ハ七月兩度ニ郡役所ヲ經由シ下附スヘシ

第二十四條 戸長以下ノ給料其他一切ノ諸費ハ每歲七月中前年度經費ノ精算ヲ遂ゲ別紙書式ノ勘定表三葉ヲ製シ郡長ノ檢閲ヲ受クヘシ

第二十六條 役場ノ經費ハ年度ノ末ニ至リ假令不足ヲ生スルモ別ニ下渡ササルヘシ故ニ有餘アルモ返納ニ及ハサルモノトス

丙第八十號達ハ第七十九條ニ出

教育令ハ大政官ノ布告ニシテ本縣ノ布達ニアラズ故ニ本編之ヲ登錄セズ但行政法規類第百三十四條ニ出

第二十八條 第二十九條中俸給ノ二字ヲ給料トス

第八拾條 戸長職務上ニ係ル伺書差出方

○明治十二年七月十四日滋賀縣丙第百貳拾七號達(本支ハ第貳拾八條ニ出ツ)

第八拾壹條 戸長自己ノ願伺届及ヒ公証ヲ要スル事件與印方

○明治十二年六月六日滋賀縣丙第百九拾六號達

今般丙第八拾號ヲ以テ戸長職務條例相達候ニ付テハ戸長自己ノ願伺届及ヒ公証ヲ要スル事件ハ其役場書役ニテ與印可致書役雇入無之時ハ臨時代理人ヲ相定與印可爲致此旨相達候事

第八拾貳條 戸長ハ必ス學務委員兼務ノ事

○明治十四年七月十一日滋賀縣乙第拾號達(郡役所) 教育令第十條ノ旨趣ニヨリ各戸長ハ職務上當然學務委員兼勤可致就テハ更ニ縣廳ヨリ辭令書交付可致候條此旨相達候事

○第七款 浦役場

第八拾三條 浦役場ノ事務郡役所ニ於テ兼掌并ニ該事務取扱方

○明治十二年七月二日滋賀縣戊第六百貳拾七號達沿海郡役所

明治九年十二月太政官第百十七號公達浦役場設置ノ儀本縣於テハ詮

議ノ次第有之今般其筋へ經伺ノ上自今郡役所ニ兼掌セシメ候條郡

長ニ於テハ右浦役人ノ心得ヲ以テ明治八年四月太政官第百十六號公

布内國船難破及ヒ漂流物取扱規則ニヨリ事務可取扱此旨相達候事

但本條事務取扱候節他府縣郡區役所又ハ本縣ヨリ難破及ヒ行方

不知船舶漂流物等尋方ノ儀ニ付沿海郡役所へ通達候ハ、其旨最

寄警察署へ直ニ通知可致事

參明治十四年四月十五日滋賀縣丙第貳拾四號達甲賀郡役所ヲ除

明治十二年七月戊第六百二十七號達相廢候條該事務ハ所管警察署へ

可引繼此旨相達候事

十四年四月十
五日滋賀縣丙
第百二十四號達
ヲ以テ全部ヲ
廢シ從同年十
月二十日同丙
第七十八號達
ヲ以テ丙第
十四號達ヲ廢
シタルニ付廢
止ノ標附ヲ付
セズ其達ハ後
ニ出○九年太
政官第百十七
號公達ハ民市
成文律類纂初
編第五百條ニ
出○八年太政
官第百十六號
公布ハ民市成
文律類纂初編
第五百三十七
條ニ出
十四年十月二
十日滋賀縣丙
第七十八號達

ヲ以テ廢ス

本年丙第二十
四號達及十二
年戊第六百二
十七號達ハ前
ニ出

○明治十四年十月二十日滋賀縣丙第七拾八號達甲賀郡役所ヲ

難破船漂流物取扱ノ儀ニ付今般其筋ヨリ指令ノ趣モ有之候付本年

丙第貳拾四號達相廢候條更ニ明治十二年戊第六百貳拾七號達ノ通

相心得該事務可取扱此旨相達候事

第八拾四條 川筋漂流物ニ係ル事務取扱方

○明治十三年九月十七日滋賀縣戊第九百貳拾號達甲賀郡役所

本文ハ第四百
五拾貳條ニ出

○明治十四年四月十五日滋賀縣戊第二百五拾三號達甲賀郡役所

本文ハ第四百
五拾貳條ニ出

○明治十四年十月二十日滋賀縣戊第六百拾七號達甲賀郡役所

本文ハ第四百
五拾貳條ニ出

第八拾五條 難破船漂流物品等之レアル節申告方

○明治十二年七月二日滋賀縣丙第百貳拾壹號達沿湖各町

官制

(本文ハ第四百五拾條ニ出)

○明治十四年四月十五日滋賀縣丙第貳拾五號達沿湖各村長役場へ

(本文ハ第四百五拾條ニ出)

○明治十四年十月二十日滋賀縣丙第七拾九號達沿湖町村戸長役場へ

(本文ハ第四百五拾條ニ出)

○第八款 官等席次

第八拾六條 戸長準官等ノ事

○明治十二年五月十六日滋賀縣甲第三拾五號布達
今般郡制施行候ニ付テハ戸長身分取扱ノ儀ハ自今等外一等ニ準シ候條此旨布達候事

第八拾七條 府縣立町村立學校職員准官等ノ事

○明治十四年十一月十七日滋賀縣甲第百八拾八號布達

(本文ハ第四百八拾三條ニ出)

○明治十五年五月十九日滋賀縣甲第百貳號布達

(本文ハ第四百八拾三條ニ出)

第八拾八條 官員席順

(參)明治七年十一月十七日太政官第百五拾貳號達院省使廳府縣へ

官員席順ノ儀本年六月第七拾八號達ノ旨モ候處自今更ニ左ノ通可相

本年第七十八號達ハ消滅ニ

六年第二百十六號達ハ第二百四拾六條ニ出

心得此旨相達候事

一 平常職務上ニ於テハ位階ノ有無高下ニ拘ラス同等同官ハ總テ宣旨ノ日ヲ以テ前後可相立事

但宣旨拜受ノ日ヲ以テ任免轉職ノ當日トスルハ明治六年月第六百拾六號達ノ通タルヘキ事

一 職員録ノ序次モ前條同様タルヘキ事

一 朝拜及ヒ諸禮式ノ節ハ従前ノ通タルヘキ事

○第九款 吏員進退

第八拾九條 戸長撰舉條例

○明治十二年五月十六日滋賀縣甲第三拾六號布達
戸長撰舉條例別冊ノ通相定來ル七月一日ヨリ施行候條此旨布達候事

但従前ノ達及ヒ指令等右ニ牴觸スル分ハ七月一日以降總テ廢止候儀ト可相心得事

別冊

戸長撰舉條例

第一條 戸長ハ該町村ニ於テ公撰スルモノトス

但不得已場合ニ於テハ特ニ官撰スルヲモアルヘシ

第二條 戸長ノ任期ハ滿二年トシ二年毎ニ改撰ス尤モ前任ノ者ヲ再撰スルヲ得ヘシ

十二年五月十六日滋賀縣甲第三十七號布達ヲ以テ任期起算方ニ付附

令アリテ參看ス
ヘシ其布達ハ
後ニ出ス

十五年二月二
十四日滋賀縣
甲第四十一號
布達ヲ以テ第
二項ヲ改正ス
其布達ハ後ニ
出

但任期中ト雖モ第三條ニ掲クル條款ニ遭遇スルモハ更ニ改撰
スヘシ

第三條 戸長タルヲ得ヘキ者ハ滿二十歳以上ノ男子ニシテ其町村
内ニ本籍住居ヲ定メ其町村内ニ不動産ヲ所有スル者ニ限ルヘシ
但左ノ各款ニ觸ルヘキ者ハ戸長タルヲ得ス

第一 瘋癲白痴ノ者

第二 懲役一年以上實決ノ刑ニ處セラレタル者

但滿期后七年ヲ經タル者ハ此限ニ非ス

第三 身代限ノ處分ヲ受ケ負債ノ辨償ヲ終ヘザル者

第四 官吏及教導職

第四條 戸長ヲ撰舉スルヲ得ヘキ者ハ其町村内ニ不動産ヲ所有ス
ル滿二十歳以上ノ男子ニシテ其町村内ニ本籍住居ヲ定メ又ハ一
年以上間斷ナク寄留スル者ニ限ル

但前條第一款第二款第三款ニ觸ルヘキ者ハ撰舉人タルヲ得ス

第五條 戸長ノ改撰ハ滿期前ニ於テ之ヲ施行シ若シ病没又ハ任期
中事故アリテ退職スルモハ隨時施行スルモノトス

第六條 撰舉ノ事務ハ現任戸長若シハ代理人之ヲ掌リ郡吏員ノ監
督ヲ請クヘシ

第七條 戸長撰舉ノモハ戸長若シハ代理人第一號書式ノ通撰被撰
人名簿ヲ製シ投票ノ場所及日時ヲ定メ少クトモ五日前ニ各撰舉
人ヘ公告スヘシ

第八條 撰舉ノ投票ハ第二號書式ノ通撰被撰人ノ姓名ヲ記シ本人自
ラ投票場ヘ持參シ投票匱ヘ投入スヘシ投票已ニ終ラハ戸長若シ
ハ代理人ハ各撰舉人ノ面前ニ於テ開票シ一々讀上ケ之ヲ登記ス
ヘシ

但投票ハ代人ニ托シテ差出スモ妨ケナシ

第九條 投票ハ多數ノ者ヲ以テ當選人トシ同數ノ者ハ年長ヲ取り
同年ノ者ハ隨ヲ以テ之ヲ定ム

第十條 票數定マルノ後戶長若クハ代理人ハ撰被撰人名簿ニ就テ

投票人及當選人ノ當否ヲ點查シ若シ法ニ於テ不適當ナル者アル
トハ之ヲ除キ當選人自ラ其撰ヲ辭スルトハ更ニ改撰スヘシ

十四年七月四
日滋賀縣甲第
百三號布達ヲ
以テ第十條中
改正其布達ハ
後ニ出

第十一條 當選人已ニ定ラハ其姓名及ヒ投票ノ數ヲ各撰舉人へ公
告シ且第三號書式ノ通郡役所ヲ經由シ縣令へ具申スヘシ

第十二條 撰舉人ニ於テハ撰舉ノ方法定規ニ乖戾スルカ又ハ不正
ノ事アリト認ルノ確証アルトハ戶長若シクハ代理人ニ對シ改正

ヲ求メ又ハ直ニ郡長へ訴出ルコトヲ得ヘシ

第十三條 撰舉ノ方法定規ニ乖戾シ又ハ不正ノ事アルトハ郡長ニ
於テ該撰舉ヲ取消シ更ニ改撰セシムルコトアルヘシ

第十四條 撰舉人撰舉ノ公告ヲ受ケ投票ヲ怠リ或ハ撰舉ノ方法定

規ニ乖戾シ或ハ不正ノ事アリト認ルモ其際訴出ザルニ於テハ該
撰舉ニ付他日異論ヲ唱フルモ其効ナキモノトス

第一號 撰被撰人名簿及公告書式用紙
戶長撰被撰人名簿

何村 何番屋敷住士族 何年何月 某

同 何番屋敷住平民 何年何月 某

同 何番屋敷住 何年何月 某

同 平民某幾男 何年何月 某

以下被撰人タルヲ得サル者 何年何月 某

官吏教導職(寄留人)同何番屋敷住平民 何年何月 某

戶長撰舉公告狀
來ル何日戶長役場或ハ何地ニ於テ當村戶長撰舉候ニ付成規ニ依リ撰被
撰舉人名取調候處別冊ノ通ニ有之候依テ同日第何時各自投票持參
可致此段及公告候也

年號月日

何村町 戶長役場

印

第二號 投票書式用紙半紙

戶長選舉票

何村町 何番屋敷住

士族(平民)

何 某

何年何月

右 選舉候也

何村町 何番屋敷住

士族(平民)

年號月日 何 某印

戶長選舉票
選舉人

何 某

印

第三號 選舉上申書式常用紙

戶長選舉上申書

何村町 何番屋敷住

士族(平民)

何年何月 某

投票何拾何枚
右ハ何村町 戶長選舉候處前書ノ人名投票多數ニ御座候此段上申候也

何郡何村町

戶長(代理)

年號月日

何 某印

滋賀縣令何某殿

十二年本縣甲
第三十六號布
達ハ前ニ出

○明治十四年七月四日滋賀縣甲第百三號布達
明治十二年本縣甲第三十六號布達 戶長選舉條例第十條中(更ニ改撰
スベシ)ノ七字ヲ削リ(順次投票ノ多數ヲ得タル者ヲ取ルベシ)ト改正

官制

候條此旨布達候事

十二年甲第三十六號布達ハ前ニ出

○明治十五年二月二十四日滋賀縣甲第四拾壹號布達
明治十二年甲第三十六號布達戸長撰舉條例中第三條第二項左ノ
通改正候條此旨布達候事

○ 第二 舊法ニ依リ一年以上懲役及國事犯禁獄ノ刑ニ處セラレ滿
期後五年ヲ經サル者又ハ一年以上輕重禁錮ノ刑ニ處セラレ主
刑滿期後五年ヲ經サル者

甲第三十六號
布達ハ前ニ出

○明治十二年五月十六日滋賀縣甲第三拾七號布達
今般甲第三十六號ヲ以テ戸長撰舉條例及布達候處現任ノ者ハ改撰
ニ不及候條七月一日以後新撰ノ節右條例ニヨリ撰舉可致尤モ條例
第二條ニ掲載スル任期ノ儀ハ本年七月一日ヨリ起算可致儀ト可相
心得此旨布達候事

但町村ノ都合ニヨリ改撰スルモ不苦候條其改撰ヲ要スル町村ニ
於テハ來ル七月三十一日限其旨可申出

第九拾條 戸長撰舉ノ節精撰スベキ事

○明治九年一月十三日滋賀縣甲第拾七號布達

十二年五月十
六日滋賀縣甲
第三十三號布
達ヲ以テ區長
ヲ廢シ同日同
甲第三十四號
布達ヲ以テ副
戸長ヲ廢ス

夫レ正副區戸長之職タルヤ一區或ハ一町村一切之事務ヲ擔當シ人
民之便利ヲ得セシムル等其職重シトス仍テハ能ク其人ヲ得ル主要
タルハ衆目之見込異同ハ有之ト雖新選投票之節々篤ト注意シ區長
ハ一區内戸長ハ一町村中於テ廣ク職務ニ堪ヘキ見込之者ヲ實直ニ
投票可致義勿論ニ候處中ニハ舊來之弊習ニ泥ミ投票之手續其實ヲ
失ヒ全ク名義而已ニ涉リ彼是不直之始末モ有之趣相聞甚以不都合
之事ニ候條自今ハ更ニ舊弊ヲ脱却シ自己之愛憎ヲ以一區或ハ一町
村之利益ヲ不妨專ラ實意ヲ盡シ投票可致操厚可相心得候事
但已後投票之節不都合之始末及見開候者ハ其旨無憚速ニ可申出

官制

候事

右管内ニ無洩布達スル者也

第九拾壹條 戸長退職願書差出方及ヒ新任手續

○明治十二年六月二十六日滋賀縣丙第百拾貳號達長役所

戸長退職願書差出方及ヒ新任手續ノ儀別紙ノ通相定候條此旨相達候事

別紙

戸長退職願書差出方及ヒ新任手續

一 戸長任期中不得已事故アリテ退職セント欲スル節ハ其情實ヲ詳記シ町村總代ノモノ連署ノ願書郡役所ヲ經由シ本廳へ差出スベシ

但病氣ノモノハ別紙雛形ノ如ク醫師ノ診斷書ヲ相添フベシ

一 任免ノ辭令書ハ郡役所ヲ經由シテ下付スルモノトス本人辭令書

十二年八月十九日滋賀縣乙第十六號達ヲ以テ附台アリ
參看スベシ其達ハ後ニ出

ヲ受取タル上ハ左ノ書式ニ依リ請書差出スベシ

請書式用紙半紙野

御請書

云々 (辭令書ノ全文ヲ記ス)

右謹テ御請申上候也

何郡何村

年號月日

何 某印

滋賀縣令苗字名殿

一 戸長拜命シタルモノハ左ノ書式ニ依リ名刺壹葉前請書ト共ニ差出スベシ

但請書及ヒ名刺ハ郡役所ヲ經由シ差出スモノトス

官制

用紙美濃紙

長曲尺五寸

年號月日拜命

何郡何村戸長

何

某

何郡何村戸長

醫師診斷書雛形

何郡何村戸長

姓名

年 齡

八年九月十四日
滋賀縣甲第
二百二十號ヲ
以テ醫師タル
者ニ對シテ診
書ヲ與フマシ
キ旨布達アリ
參看スベシ其
布達ハ第百三
十四條ニ出

- 一體質
- 一病名
- 一原因
- 一症候

- 一經過
- 一處方
- 一豫後

何郡何村住

醫師

年號月日

姓

名印

十二年五月十
六日滋賀縣甲
第三十三號布
達ヲ以テ區長
ヲ廢シ同日同
甲第三十四號
布達ヲ以テ戶
長ヲ廢ス○十
二年八月十九
日滋賀縣乙第
十六號達ヲ以
テ附令アリ參
看スベシ其達

○明治十年一月十五日滋賀縣丙第八號布達近江國
正副區戸長退職願ノ義近來輕症ノ病疾或ハ一時ノ病氣家事營業上
等ノ都合又ハ町村内ニ於テ擅ニ交代ノ期限ヲ定メ退職願出ルモノ
儘有之元來區戸長ノ職タル右等ノ如キ瑣少ノ差閤ヲ以濫リニ其職
ヲ差許スヘキモノニ無之候條全ク事實不得止モノ、外濫リニ辭職
不願出様相心得ヘク且ツ疾病在職難致程ノ者ニ候半ハ無余儀事實
ヲ以テ辭職願出ル節ハ必ス別紙醫師診斷書雛形ニ照準シ每々條詳

官制

十二年六月二
十六日滋賀縣
丙第百十二號
達ヲ以テ離形
更定其達ハ前
二出

細記載可差出義ト可心得候事
右管内近江國正副區長へ無洩布達スル者也

醫師診斷書雛形

何郡第何區正副區長

或ハ何郡第何區何村町

正副戶長

姓

名

年 齡

- 一體質
- 一病名
- 一原因
- 一症候
- 一經過
- 一處方

一豫後

何郡何村住

醫師

姓 名 印

年號月日
○明治十二年八月十九日滋賀縣乙第拾六號郡役所戶
長在職ノモノ輕症或ハ一時ノ病氣又ハ家事營業上ノ都合等ニ依

テ濫ニ辭職不願出様可相心得旨明治十年丙第八號ヲ以近江國戶長
へ相達置候處今般郡制施行戶長ノ任期二ケ年ト相定候ニ付テハ一
般戶長ニ於テ前件ノ旨趣ヲ遵守シ任期中上ハ行政ノ事務ヲ整理シ
下ハ町村理事者タルノ分ヲ盡シ精々勉勵職務ニ從事可致此旨相達
候事

但不得止事故アリ辭職願出候者有之節ハ郡役所ニ於テ篤ト願意
ノ實否ヲ調査シ該願情ニ對シ意見有之分ハ其旨具申可致様豫テ

官制

十年丙第八號
達ハ前ニ出
戶長ノ任期ヲ
定メタルハ第
八十九條ニ載
スル十二年五
月十六日滋賀
縣甲第三十六
號布達中ニ出
○近江國戶長
原本ノマ、恐
クハ近江國區
長ノ誤ナラン

可相心得事

第九拾貳條 學務委員薦舉規則

○明治十四年九月五日滋賀縣甲第四百四拾貳號布達

(本文八第百四拾三條出)

○明治十四年九月十二日滋賀縣甲第四百四拾五號布達

(本文八第百四拾五條出)

○明治十四年七月十一日滋賀縣乙第拾號達郡役所 長役場 戸

(本文八第百四拾七條出)

第九拾三條 小學教員及助教員進退手續并認證書交付方

○明治十三年五月四日滋賀縣甲第四百八號布達

(本文八第百四拾六條出)

○明治十三年五月四日滋賀縣丙第貳拾九號達郡役所 戸

(本文八第百四拾七條出)

○明治十三年六月七日滋賀縣甲第六拾七號布達

(本文八第百四拾四條出)

第九拾四條 町村衛生委員撰舉并退職手續

○明治十三年八月五日滋賀縣甲第百壹號布達ノ内

(本文八第百拾條出)

○明治十四年一月二十九日滋賀縣甲第拾三號布達ノ内

(本文八第百拾條出)

○明治十五年三月一日滋賀縣甲第四百五號布達ノ内

(本文八第百拾條出)

○明治十三年八月十九日滋賀縣丙第五拾六號達郡役所 戸

(本文八第百拾壹條出)

第九拾五條 祠堂祠堂薦舉方法

○明治九年十月二十二日滋賀縣丙第四百四拾七號布達

(本八拾條ニ出)

○明治十二年十一月二十日滋賀縣甲第百六拾壹號布達

(本七拾九條ニ出)

第九拾六條 寺院住職進退手續

○明治十二年二月四日滋賀縣乙第貳號布達寺院

(本八拾四條ニ出)

○明治十二年七月十八日滋賀縣甲第八拾四號布達

(本八拾三條ニ出)

○第拾欸 官吏出張 附リ 待遇

第九拾七條 縣官出張ノ節ハ官印アル証書携帶并ニ疑敷者又ハ不

都合ノ舉動アリタルキハ申告スベキ事

○明治九年十一月一日滋賀縣乙第百五拾貳號布達

後ニ載スル十
年九月四日滋
賀縣甲第百二
十九號布達參
看スヘシ
目今警察出張
所ヲ警察署或
ハ警察分署ト
稱シ巡查屯所
ヲ交番所ト稱
ス

近來當縣官員ト僞稱シ管下ヲ徘徊シ無根ノ流言ヲ發シ又ハ金錢借
用等及頼談候者有之哉ニ相聞エ不都合ノ至ニ候條凡テ當縣官員派
遣候節ハ必ス該事由ヲ記載スル辭令書所持爲致候筈ニ付疑敷者ハ
該辭令書ヲ相改メ所持無之ニ於テハ差留置其旨速ニ最寄警察出張
所又ハ巡查屯所等エ可届出此旨相達候事

右管内エ無洩布達スル者也

○明治十年九月四日滋賀縣甲第百貳拾九號布達

近來詭リテ官員ト稱シ或ハ警察官吏ニシテ内密ノ公務之アル者ト
唱ヘ管下ヲ徘徊シ人民ヲ眩惑シ金錢ヲ請求シ又宿泊料ヲ拂ハサル

モノモ往々有之哉ニ相聞ヘ不都合ノ儀ニ付自今右等曖昧ノ者ニ眩
 惑セラレザル様一層注意致スベク就テハ當縣警察官吏ニ於テハ如
 何様内密ノ公事アルトモ上司ノ官印ヲ捺スル証書類ヲ所持セザレ
 ハ出張致サズ且ツ巡查ハ必ス制服ヲ着シ左ノ雛形ノ如キ縣印ヲ捺
 スル手帖ヲ所持致サセ若シ角袖着用ノ節ト雖ヒ右手帖ハ必ス所持
 スルモノニシテ固ヨリ不都合ノ舉動ハ無之筈ニ候條今後右等ノ如
 キ不都合ノ舉動有之者徘徊致シ候ハ、証書ノ有無ニ拘ハラヌ本人
 留置キ最寄警察署或ハ分署又ハ巡行ノ巡查ヘ迅速通知可致此旨布
 達候事

○

▲原本朱字

手	▲第	▲何	▲號
滋	縣		
何	何	何	明
年	月	日	治
給	與		
何警察署在勤			
何等巡查			
▲又ハ警察雇			
何 某			

第九拾八條

勸農局員農事ノ實況視察ノ爲メ巡回ノ事

○明治十三年一月二十一日滋賀縣丙第五號達部役

(本文ハ第六百七拾貳條ニ出)

官制

二百六十七

第九拾九條 內務省地質調査員巡回ノ事

○明治十三年九月十七日滋賀縣丙第六拾三號達所長郡役へ

（本文ハ第三百四拾條ニ出）

第百條 大藏省諸稅監査員巡回ノ節印章提携ノ事

○明治十四年十一月一日滋賀縣乙第貳拾號達所長郡役へ

大藏省租稅局員諸稅鑑査トシテ巡回候者へハ印章ヲ提携セシメ候付右印章參照ノ爲メ同局ヨリ印影可相渡旨達有之候條自今諸稅鑑査トシテ同局員出張ノ節ハ右印章ヲ可相認就テハ協議等有之候節ハ都テ不都合無之様可取計此旨相達候事

但印影ハ追テ可及配付候事（現今既ニ郡役所へ長郡役へ配付セリ）

第百壹條 縣官管内巡回ノ節休泊料ノ事

○明治九年二月十日滋賀縣甲第六拾四號布達

當縣官吏管内派出休泊ノ節ハ飲食等其町村有合ノ品ヲ以相賄ヒ共

品物ノ美惡ニ應シ相當ノ代價可受取筈ノ處舊弊ニ泥ミ相當ノ代價ヲ押隱シ受取方甚々微少ニシテ後日ニ至リ民費ニ賦課スル等ノ村町モ有之趣相聞不都合ノ至ニ候抑モ前途警察學校等追々盛大ニ相設ケ候ニ付テハ隨テ民費モ亦一層可相嵩ニ付精々減費ノ方法ニ可注意依テ自今ハ官吏休泊ノ節其差出候飲食ノ美惡ニヨリ相當ノ代價必ス可請取自然今後前述ノ如キ舊弊有之候ハ、急度可及取糺候條心得違致間敷此旨相達候事

右管内エ無洩布達スル者也

第百貳條 縣官ニ行會タル節土上ニ拜伏スル等ノ儀致スマジキ事

○明治五年壬申四月日滋賀縣第五拾壹號布達

從來當管下ノ平民令參事其他官吏ニ行會候節土上ニ拜伏或ハ手ヲ地ニ附ケ挨拶致候惡弊有之處右ハ甚々不宜事ニテ元來土上ニ拜伏スルハ禽獸ノ所業ニ候條以來右様ノ事致ス間敷事

右管内ニ無洩相達ル者也

○第拾壹款

呼出民申刑申ニ付裁判所等ヨリノ呼出ニ關スル諸達ハ算拾七章第貳款ニ載ス

第百三條

郡役所ノ召喚ニ應セザル者取扱方

○明治十三年二月十三日滋賀縣丙第拾壹號郡役所達

納稅其他ノ事件ニ付郡役所ノ召喚ヲ拒ミ出頭不致者又ハ租稅未納者身代限りノ處分ニ及候節其執行ヲ拒ム者等有之候ハ、所管警察署へ通牒シ相當ノ保護ヲ求ムヘク此旨爲心得相達候事

○明治十三年十月二十七日滋賀縣本局付屬ヨリ郡役所へ通知

本年丙第八號納稅其他ノ事件ニ付郡役所ノ召喚ヲ拒云々ノ達ハ丙第拾壹號ノ誤寫ニ付御訂正有之度候也

第百四條

戸長并ニ部民ヲ縣廳ニ呼出ス書式

○明治十二年八月十五日滋賀縣丙第百四拾貳號郡役所達

本縣文書定式別冊ノ通改正候條爲心得此旨相達候事

別冊(摘要)

十三年十月二十七日滋賀縣本局付屬通知ヲ以テ丙第八號ヲ丙第十一號ト訂正ス其通知書ハ後ニ出

本年丙第八號即チ訂正丙第十一號達ハ前ニ出

第五章 召喚書式

第一條 部民召喚書式及ヒ鈴印式用紙九行寄野紙或ハ郵便端紙

某町何某へ何々ノ儀有之候條來ル何日午後第何時當廳へ
可罷出音
親戚付添可罷出音 被達候也
戸長付添可罷出音

▲印章原本朱書

課印

年號月日

何郡何村

戸長役場

滋賀縣

何

課▲

課印

追テ此召喚書本人出頭ノ節返還可爲致事

(但シ勅奏官位及ヒ華族ノ輩ハ其家令又ハ其執事ヲ召喚スベシ)
第二條 戸長召喚書式及ヒ鈴印式用紙九行寄野紙或ハ郵便端紙

▲印章原本朱書

課印

年號月日

何郡何村

戸長何某殿

滋賀縣

何

課▲

課印

云々ノ儀有之候條來ル何日午後第何時當廳へ出頭可有之旨
被達候也

追テ此召喚書出頭ノ節返還可有之事

○第拾貳款 記錄圖書附リ 史誌編輯

第百五條 町村公有記錄繪圖等取締并其私有ニ係ルモノ 献納ノ事

○明治十三年五月二十八日滋賀縣丙第三拾四號達郡役所 長役場ヘ

各町村公有記錄繪圖等嚴重取締目錄ニ通リ作リ一ハ之ヲ各村町ニ留置一ハ之ヲ郡役所ニ備ヘ從前散佚ノ舊記檢出并新製之分ハ年々之ヲ追加シ主管者轉免等ノ節ハ目錄ニ照合シ可致引繼其他判然私有物ニシテ後証トモ可相成モノハ相當ノ取計ヲ致シ代價ヲ要セス相納候者ハ献納書籍ノ例ヲ以テ相當賞賜可相成且時宜ニヨリ官吏派出檢査相成候儀モ可有之旨其筋ヨリ達有之候條此旨相達候事

第百六條 郡役所戸長役場ノ帳簿等詞訟審判上要用ノ節差出方

○明治十四年六月十一日滋賀縣乙第七號達郡役所 長役場ヘ

(本文ハ第八百六拾八條ニ出)

第百七條 村誌編輯例則

○明治九年一月二十四日滋賀縣甲第四拾壹號布達區長 戸長ヘ

皇國地誌編輯セラレ候ニ付當管即チ近江國地誌編輯候ニ就テハ先ツ首トシテ村誌編輯調査着手候付別紙例則及ヒ地圖布達候條該則ニ照シ明詳調査記載シ可差出尤モ百事多端中ニ可有之候得共該編輯ノ事務モ亦難關ニ付區戸長ニ於テ此旨篤ト相心得別紙例則及ヒ村圖等熟閱シ遺漏誤謬無之様調査記載シ一區内限リ相束無遅々可差出候固ヨリ緻密ノ例則ニ付自然了解シ難キ條件有之候ハ、出聽ノ上掛官吏エ及質問調査可致候事

但例則題目中該村ニ之レナキモノハ題目ノ下ニナシト朱書スベシ

又題目外ニ之アルモノハ各例則ニ倣ヒ悉皆記載スベシ

右管内各區正副區長各村正副戸長ニ無洩布達スル者也

別紙

村誌編輯例則

本誌全村ノ景狀ヲ知ラント欲ス故ニ本例ニ照準シ細密ニ之ヲ記シ遺漏ナカラント欲ス

近江國某郡某村 枝村新田

本村古時某郡某郷ニ屬シ年號千支ノ年號千支ノ頃ト記スヘシ下皆之ニ倣ヘ本郡ニ屬ス或ハ古時某村ノ稱ヲ用フ年號千支月日改テ本村ノ稱ニ改ム等ノ類

本村元同郡某村ト一村タリ年號千支月日分テ兩村トナル或ハ元某々兩村タリシニ年號千支月日合テ一村トナルノ類

疆域 東ハ同郡某村ト用水或ハ何々ヲ以テ界シ西ハ某國某郡某村ト隄防ヲ以テ界トシ南ハ某山某嶺ヲ境トシ某郡某村ニ隣シ北ハ

某川中央ヲ境トシ某郡某村ニ對スル等ノ類

幅員 東西幾里南北幾町廣狹大差ヲ面積幾方里面積實測ヲ記ス否クナレハ略

管轄沿革 年號千支ヨリ某氏之ヲ領シ年號千支某氏某所ニ移リ某

氏之ニ代ル等ノ類德川氏以來地頭領主ノ遷替ヲ記スヘシ然レモ

細録スヘシ但古記ノ書名ヲ

里程 某縣廳縣廳ノヨリ何方幾里縣廳ニ直隸セザル者トイヘ某支

廳所管ノヨリ何方幾里縣廳ニ直隸セザル者トイヘ某支

町等ノ類近傍有名ノ宿町アレハ其宿

但里數ハ元標ヲ明記スヘシ

地勢 東南某山ヲ負ヒ西北某水ヲ帶フ運輸便利薪炭乏シカラス等ノ類

地味 其色赤黒其質美惡稻粱ニ宜シク桑茶ニ適シ或ハ水利ニ便ニ或ハ時々旱ニ苦シム等ノ類

稅地 田幾畑幾宅地幾山林幾原野幾總計幾等ノ類

字地 某本村ノ東ヨリ西へ連ル或某橋ノ西某寺ノ前等東西へ連ル南北幾開

官制

十年十月二十
九日滋賀縣丙
第百八十二號
達ヲ以テ貢租
ノ條ヲ改正ス
其達ハ後ニ出

貢租	地租	米幾	石幾	賦金	圓幾	金幾	總計	米幾	石幾	圓幾	等ノ類
但シ	明治八年ノ	納租	ヲ記	スベシ							
戸數	本籍	幾戶	族幾	戶幾	土族	戶幾	寄留	幾戶	上社	幾戶	官社
總座	幾座	寺幾	戶幾	宗幾	字幾	宗幾	總計	幾戶	等ノ類		
人數	男幾	口幾	族幾	口幾	土族	口幾	女幾	口幾	上社	幾戶	官社
云々	外寄	留									
但同上											
牛馬	壯牛	幾頭	牝牛	幾頭	總計	幾頭	牡馬	幾頭	牝馬	幾頭	總計
類											
但同上											
舟車	蒸氣	船幾	艘幾	百噸	以上	幾艘	帆走	船幾	艘幾	上	日本
未滿	五拾	石	未滿	五百	石	幾艘	五拾	石	未滿	五百	石
總計	幾艘	等ノ類									

山	某山	高幾	周幾	廻幾	里幾	村幾	河幾	方幾	北幾	本幾	村幾	嶺幾	上幾	山幾	路幾	西幾	東幾	山幾	某幾
連	或ハ	孤立	ス	或ハ	樹木	鬱葱	或ハ	樹木	生	易	シ	テ	遠	シ	一	ハ	本	村	
本	村	右	左	折	谷	ヨリ	上	ル	高	幾	里	幾	町	幾	田	幾	水	凡	幾
深	ヨリ	狭	大	凡	經	川	ニ	入	ル	高	或	幾	十	町	幾	田	幾	水	凡
村	モ	四	五	村	下	連	ニ	下	ル	高	或	幾	十	町	幾	田	幾	水	凡
ル	所	如	キ	村	之	テ	記	マ	ス	テ	高	或	幾	十	町	幾	水	凡	幾
ス	者	ノ	如	キ	村	之	テ	記	マ	ス	テ	高	或	幾	十	町	幾	水	凡
意	記	職	某	岳	上	ニ	某	丘	上	ニ	某	峠	上	ニ	某	村	幾	所	ト
川	某川	幾	河	幾	同	深	幾	最	短	深	幾	處	何	最	清	淺	幾	處	及
或ハ	某防	無	支	如	河	又	字	某	村	所	ヨ	リ	出	來	何	最	清	淺	幾
某渡	某街	道	二	屈	本	村	ヨ	リ	出	來	何	最	清	淺	幾	處	及	淡	幾
屬	同	上	架	シ	下	村	何	方	幾	尺	幾	間	入	ル	其	間	幾	處	何
溝	水	深	架	シ	下	村	何	方	幾	尺	幾	間	入	ル	其	間	幾	處	何
惡	水	深	架	シ	下	村	何	方	幾	尺	幾	間	入	ル	其	間	幾	處	何

其森原本ノマ
ハ恐クハ其森
ノ誤ナラン

幾水ニ供ス等ノ類ノ
 用幾福幾間田幾町ノ
 某堀倣上ヘニ
 森林 某林或ハ官有ニ
 屬シ或ハ民有ニ
 其樹多シ東園幾町
 南長之幾ニ町カ
 別又ハ處々樹アリ或ハ
 大樹ノ類シ其森倣上
 ヘニ
 原野 某原或ハ官有ニ
 屬シ或ハ民有ニ
 樹木ノ屬クス唯方
 何アリニ等アリ類
 野倣上ヘニ
 牧場 某牧或ハ官有ニ
 屬シ或ハ民有ニ
 頭牛幾頭ノ總方
 幾頭北東ハ幾何
 頭壯馬幾頭總計
 礦山 金山或ハ官有ニ
 屬シ或ハ民有ニ
 見村ハ何年支
 何ニ起アリ何
 方何村何方何
 住ケ年出高幾其類
 類テ銀山或ハ民有
 石硯石等皆鋼之
 銀石炭
 但出高明治八年以
 月記ス休山
 湖沼 某湖或ハ官有ニ
 屬シ或ハ民有ニ
 尺周廻ハ幾里
 某池沼或ハ官有
 西廻幾町南
 北ノ幾
 湖沼 某湖或ハ官有ニ
 屬シ或ハ民有ニ
 尺周廻ハ幾里
 某池沼或ハ官有
 西廻幾町南
 北ノ幾
 道路 某街道或ハ官有ニ
 屬シ或ハ民有ニ
 幾町ノ幾里
 幾町ノ幾里
 幾町ノ幾里

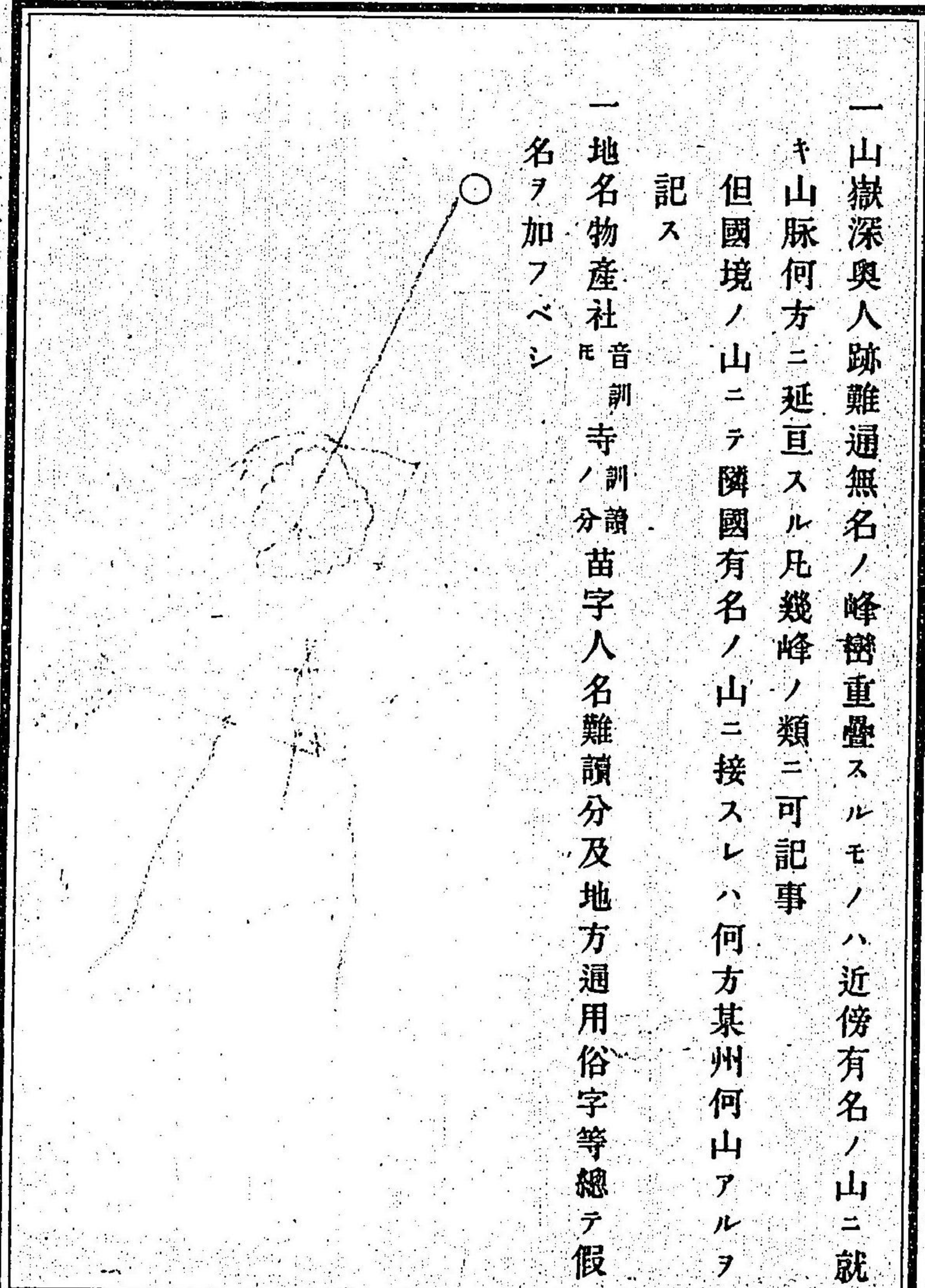
道ニ折ル等ノ類ノ支
 某往還倣上ヘニ
 揭示場ヨリ村東
 町口ニ西リ口
 堤塘 某堤或ハ官有ニ
 屬シ或ハ民有ニ
 幾町ノ幾里
 幾町ノ幾里
 幾町ノ幾里
 竹官 某竹或ハ官有ニ
 屬シ或ハ民有ニ
 幾町ノ幾里
 幾町ノ幾里
 幾町ノ幾里
 港 某港或ハ官有ニ
 屬シ或ハ民有ニ
 幾町ノ幾里
 幾町ノ幾里
 幾町ノ幾里
 出崎 某崎或ハ官有ニ
 屬シ或ハ民有ニ
 幾町ノ幾里
 幾町ノ幾里
 幾町ノ幾里
 島 某島或ハ官有ニ
 屬シ或ハ民有ニ
 幾町ノ幾里
 幾町ノ幾里
 幾町ノ幾里
 暗礁 某礁或ハ官有ニ
 屬シ或ハ民有ニ
 幾町ノ幾里
 幾町ノ幾里
 幾町ノ幾里
 瀧 某瀧或ハ官有ニ
 屬シ或ハ民有ニ
 幾町ノ幾里
 幾町ノ幾里
 幾町ノ幾里
 温泉 某湯或ハ官有ニ
 屬シ或ハ民有ニ
 幾町ノ幾里
 幾町ノ幾里
 幾町ノ幾里
 冷泉 某泉或ハ官有ニ
 屬シ或ハ民有ニ
 幾町ノ幾里
 幾町ノ幾里
 幾町ノ幾里

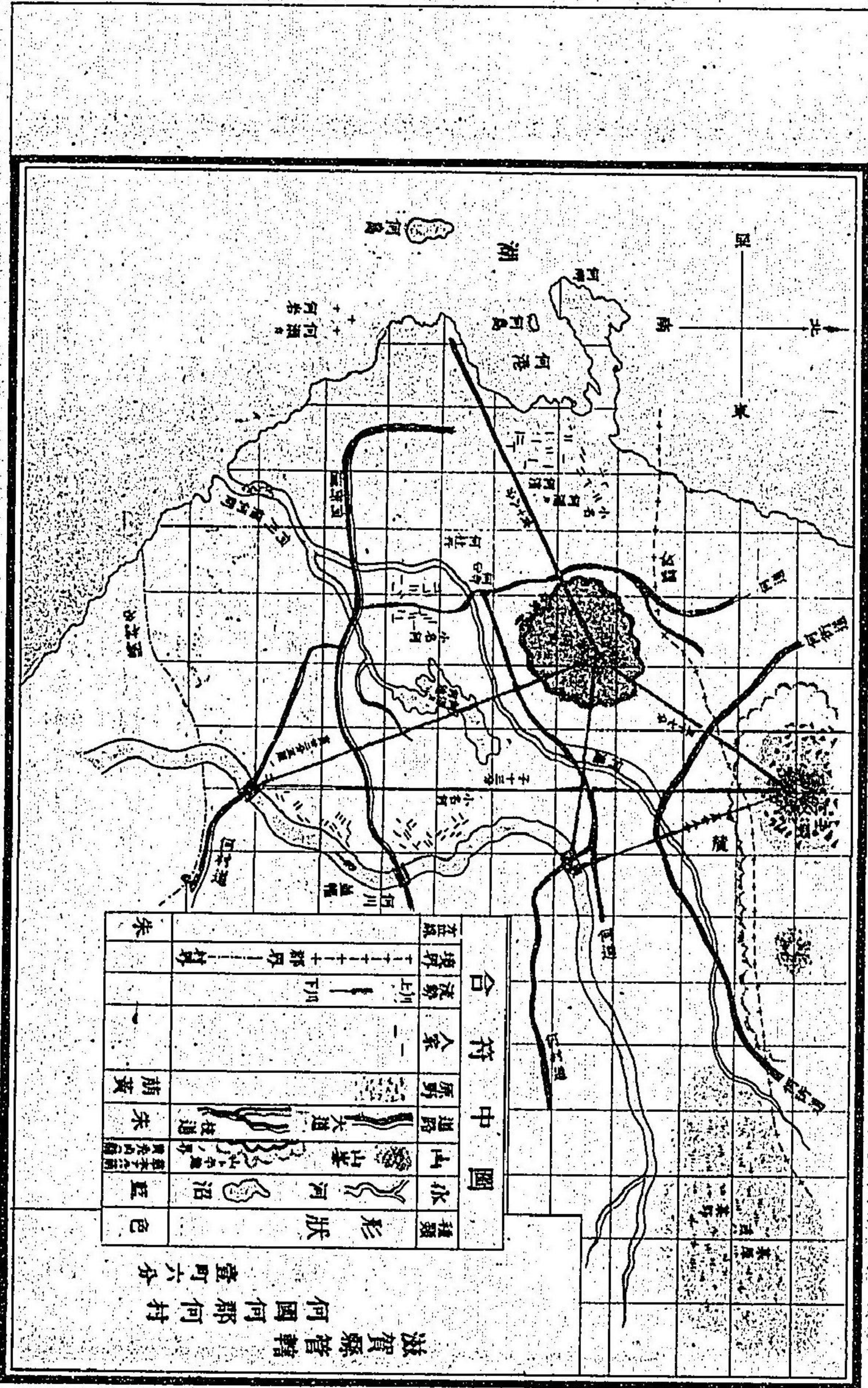
公園 某園或ハ官有ニ屬シ或ハ民有ニ屬クス東西幾町南北幾町府村ノ
 深ク山由テ深美園等ノ樹木
 陵墓 某天皇陵ニ封土ノ高上松ノ旗狹大凡幾塔アルノ何方某山ノ麓
 某皇后陵傲上ニ某皇太子陵傲上ニ某皇妃墓傲上ニ某皇子墓傲上ニ死者
 墓 某村ニアツキ年號ニ支月日官軍葬ヲ某城ニ破リ招魂墓傲上ニ某氏
 墓 唯古ノ一方株アソリ石恒之ヲ著ル此ニ葬ハ文宇詳ナラ或ハ碑石ナク
 社 某社ヲ格並社地東延喜幾町南北幾町面積幾町本村ノ何方ニ遇
 社 祠廟衰廢ス明治幾年中國幣社ニ列セラレ再ヒ舊觀ニ復ス等ノ招
 魂社 某村ニアツキ年號ニ支月日官軍葬ヲ某城ニ破リ招魂墓傲上ニ某氏
 寺 某寺ヲ西アツキ年號ニ支月日官軍葬ヲ某城ニ破リ招魂墓傲上ニ某氏
 及有之ヲハ其數 某堂傲上ニ某庵傲上ニ
 社寺ノ文書碑銘等事實ヲ年月等ノ考據ニ供

學校 官立中學校幾所 村ノ何方某所ニアツキ人民共立中學校幾所
 傲上ニ官立小學校幾所 傲上ニ人民共立小學校幾所 傲上ニ
 町會所 東西幾町何方ニアツキ間ノ面積幾
 病院 官立病院幾所 村ノ何方大凡幾人等ノ類人 人民共立病院幾所
 傲上ニ
 電線 線路ヲ道路ノ右ヨリ長地ノ左電信局ニアツキ何方某所
 郵便局 郵便役所ニアツキ何方若干郵便取扱所傲上ニ蒸氣船回漕會社
 傲上ニ
 製糸場 某所アツキ何方若干
 大工作場 造船場下ノ船方某所ニアツキ幾類以
 古跡 某國府址 某東所ニアツキ幾類以
 北幾町至五稜ヲ土形ヲ盤ナシモ或ハ回字古城ヲ得年號若干支某氏之御ヲ榮キ

○年號千支某氏之ヲ攻ム克ハタス傳テ去ル年號千支之ヲ毀ノツ等ノ類
 等ハ明瞭ニ某戰場亦此所ニ戰フ村ノ何ノ方ニ所ナリ其後田トナル等氏
 記ノ古關趾ニ大抵フ上宅跡年號千支某氏之ヲ新ル其後故アリテ此地ニ
 類ノ古關趾ニ大抵フ上宅跡年號千支某氏之ヲ新ル其後故アリテ此地ニ
 名勝 某山村ヲ以テ稱セラルル等ノ類
 物産 動物 幾何某地ニ輸送ス等ノ類 植物 倣ニニ 飲食 倣ニニ 其他製造
 物倣ニニ 器用 倣ニニ
 民業 男 農者 桑ヲ業トスル者 幾戸 或ハ漁獵ヲ業トスル者 幾戸 或ハ薪炭ヲ業トス 女 縫織ヲ業トス
 茶ヲ業トスル者 幾人ノ類
 一村圖ハ例則中搦載セスト雖モ製圖致シ一町六分ノ割ヲ以取調字
 地元標社寺等記載スヘシ
 一名勝真景及陵墓城趾等ノ圖ハ從來備置有之ハ可差出若無之ハ新
 製シ可差出事

一山嶽深奥人跡難通無名ノ峰巒重疊スルモノハ近傍有名ノ山ニ就
 キ山脉何方ニ延亘スル凡幾峰ノ類ニ可記事
 但國境ノ山ニテ隣國有名ノ山ニ接スレハ何方某州何山アルヲ
 記ス
 一地名物産社音訓寺訓讀苗字人名難讀分及地方通用俗字等總テ假
 名ヲ加フベシ





九年當縣甲第
四十一號布達
八前二出
同年丙第百五
十七號布達ハ
目今若越四郡
福井縣ノ管轄
ニ屬スルニ付
略ス

證券印紙原
本ノマ、恐ク
ハ證券印紙
ノ誤ナラン

○明治十年十月二十九日滋賀縣丙第百八拾貳號達區長戸
昨九年一當縣甲第四十一號ヲ以テ近江全國へ同年十一月第百五十
七號ヲ以テ若狹國及ヒ越前敦賀郡へ及布達置候地誌編輯例則中貢
租ノ條別紙ノ通改正候條此旨相達候事

別紙
貢租

國稅

地券稅 該村地八價金納何拾何千何百何拾何圓

酒 證 證 證 證
清 券 印 紙 其
濁 及 野 他
其 及 野 他
紙 紙 紙 紙
印 印 印 印
及 及 及 及
生 生 生 生
賣 賣 賣 賣
馬 種 草 牛
賣 賣 賣 賣

縣稅

遊 子 遊 子
池 池 池 池
草 草 草 草
泥 泥 泥 泥
居 居 居 居
石 石 石 石
役 役 役 役
者 者 者 者
諸 諸 諸 諸
其 其 其 其
行 行 行 行

官制

水車織機質屋宿屋古衣金
道具兩撥忘納米商之類

本年甲第四十
一號布達八前
二出

○明治九年九月二十七日滋賀縣丙第百拾九號布達區長野洲兩郡
當縣本年甲第四拾壹號ヲ以テ村誌編輯例則並村圖調製等及布達置
候就テハ各區々長各村戸長ニ於テ右例則村圖等篤ト熟閱シ不了解
ノ條件等ハ出廳致シ當該ノ官員へ詳細及質問迅速調査シ來ル十一
月十五日ヲ限リ全郡各村調成シ可差出里程ノ義ハ各村榜示無之村
ハ舊揭示場ヲ元標ト見做シ目的トシテ隣地立會篤ト實地ヲ測量シ
可記載尤區長ニ於テハ全區各村取纏マルヲ不待速成ノ村ハ假令一
兩村タリヒ調成次第速ニ該區長ヨリ可差出此旨相達候事
右管内栗太郡野洲郡各區々長及各村戸長へ無洩布達スル者也
第百八條 縣史編輯ニ付入用ノ條件調査ノ事

○明治十二年十二月十七日滋賀縣丙第百七拾五號達區長野洲兩郡
縣史編輯ニ付別紙ノ條件明治十一年十二兩年分精密調査ヲ遂ケ來十

▲原本朱字

三年三月三十一日限無遲滯可差出此旨相達候事
但爾後別段不相達候條每年三月限前年分調査可差出儀ト可相心
得事

別紙

調査例目▲時變開墾別冊ニ記スヘシ

▲例目條件該町村ニ之レナキハ例目下ニ朱圈ヲ付スヘシ

○時變

何郡何村

一水害	幾戸	潰屋	幾戸
流屋	幾戸	傷病人	幾人男幾人
溺死人	幾人男幾人	流土藏	幾棟
水込家	幾戸	水込土藏	幾棟
潰土藏	幾棟		

官制

▲原本朱字

潰田 幾町反畝步 水込田 同上
 水込畑 幾町反畝步 潰畑 同上
 水込宅地 同上 潰宅地 同上
 水込林藪地同上 潰林藪地 同上
 堤切字何川堤長何間何尺 山崩 幾箇所
 橋落 幾箇所石板橋或土橋
 ▲但十一年十二年一ヶ年毎ニ區別記載スヘシ

▲原本朱字

一火災
 燒屋 幾戸 土藏 幾棟
 神社 幾社 佛堂 幾宇
 燒死 幾人男幾人 女幾人 傷痕幾人男幾人 女幾人
 ▲但同上

一風害

▲原本朱字

潰屋 幾戸 皆無田 幾町反畝步
 皆無畑 幾町反畝步 死亡 幾人男幾人 女幾人
 傷痕 幾人男幾人 女幾人
 ▲但同上

一旱魃
 皆無田 幾町反畝步 皆無畑 同上
 ▲但同上

○開墾
 字何元林藪カ或ハ澤沼カ岡坪カ原野カ
 一反別 幾町反畝步

何郡何村町
 所有主 何 某
 ▲又ハ町村共有カ

官制

▲原本朱字

着手	何年月
落成	何年月
鋤下	何年月何年月ヨリ
培植	幾年間何年月ニ至ル
	何々

▲幾筆アルモ着手落成年月ノ異ナル毎ニ區別記載スヘク且ツ願伺及ヒ指令文等遺漏ナク記スヘシ尤十一年十二年中落成ノ分ヲ記スヘシ

○第拾三款 祝日祭日休暇附リ朝賀

第百九條 毎年元日其他式日ニハ門戸ヲ開キ豁然當日ヲ祝スベキ事

○明治五年壬申十一月二十八日滋賀縣第三百九拾四號布達
 従前正月元日ニ限り諸民門戸ヲ閉寂然籠居之風習有之處元來上下一般同賀之日ニ當リ右等之風俗有之間敷筋ニ付自今一月一日ハ勿論其他式日ニハ平生都合ニ依リ閉居候共其日ニ限り開扉致シ豁然當日ヲ祝シ可申事

右管内ニ無洩至急相達スル者也

第百拾條 祝日祭日ニ國旗ヲ差出ス者電信線ノ障碍ニナラザル様注意ノ事

○明治八年十二月二十三日滋賀縣乙第百六拾三號布達
 天長節其他諸祭日等ニ村町ニ於テ毎戸國旗差出候處電信線路沿道

官制

軒前ノ列旗自然電線ニ差障リ候場所モ有之哉ニ付今後右等電線ニ
障碍不相成線注意可致旨電信寮ヨリ掛合有之候條國旗差出候向ハ
右電線ニ障碍不相成線篤ト可致注意此旨相達候事
右管内電信線路沿道町村ニ無洩布達スル者也

第百拾壹條 日曜日ヲ以テ休暇ト定ムルノ事

○明治九年三月十七日滋賀縣甲第百三拾七號布達
別紙ノ通御達相成候條爲心得此旨相達候事
右管内ニ無洩布達スル者也

別紙

第貳拾七號

院省使廳府縣

從前一六日休暇ノ處來ル四月ヨリ日曜日ヲ以テ休暇ト被定候條此
旨相達候事

但土曜日ハ正午十二時ヨリ休暇タルヘキ事

後ニ載スル十
二年五月八日
滋賀縣甲第百
十號布達參府
スベシ同年十
一月十七日同
甲第百五十八
號布達ヲ以テ
附合アリ參府
スベシ〇十一
年十二月五日

明治九年三月十二日 太政大臣三條實美

第百拾貳條 帶勳有位ノ輩三大節參賀ノ事

○參 明治十一年十二月二日太政官第百三拾六號布告

帶勳有位ノ輩新年並紀元節天長節參賀ノ儀左ノ通被定候條此旨布
告候事

一 非役勳六等以上同從六位以上在京ノ輩ハ參内拜賀シ他ハ所在ノ
地方廳ヲ經テ賀表ヲ上ルヘシ

但在官職ト雖モ判任以下ハ仍ホ非役ニ同シ

一 非役勳七等以下同正七位以下ハ其身所在ノ地方廳ニ參賀スヘシ
但等外吏タルノ類ハ仍ホ非役ニ同シ

一 勳三等以上從三位以上ハ皇居中仕切門迄乘車馬ヲ得ヘシ

但在官職ノ廉ヲ以テ參上ノ節ハ其官職ノ本分ニ從フヘシ

一 勳六等以上從六位以上ハ皇居御門臺迄乘車馬御車寄ヨリ昇降ヲ

官制

女政官書記官
達ヲ以テ第四
項中御車寄ヲ
車寄ト訂正ス

本年第三十六
號布告ハ前ニ
出

十一年第三十
六號公布ハ前
ニ出

十一年第三十
六號公布ハ前
ニ出

得ヘシ

但在官職ノ廉ヲ以テ參上ノ節ハ上ニ同シ

○明治十一年十二月五日太政官書記官達

本年第三拾六號布告第四項中

御車寄トアルハ車寄ノ誤

○明治十二年五月八日滋賀縣甲第三拾號布達

昨十一年^{十二}第三拾六號公布中第二項非役勳七等以下同正七位以

下ハ其身所在ノ地方廳ニ參賀スヘシト有之候處右ハ地方廳遠隔ノ

地ニ在住或ハ寄留ノ輩ハ賀表ノミ縣廳へ差出候共不若旨其筋ヨリ

達有之候條此旨布達候事

○明治十二年十一月十七日滋賀縣甲第百五拾八號布達

帶勳有位ノ輩三大節參賀ノ儀ニ付昨十一年^{十二}第三拾六號ヲ以テ

公布相成候處右非役帶勳有位者ノ内賀表ヲ上ラス或ハ參賀セザル

者等往々有之不都合ノ事ニ候條自今右公布ノ通可相心得尤モ勳七
等以下正七位以下ノ者不參ノ節ハ其旨當廳へ可届出此旨非役帶勳
及非役有位者へ布達候事

○第拾四款 官規ニ關スル雜則

第百拾三條

郡徵兵事務官ノ辭令書ハ時々下付セザル事

○明治十三年十月二十一日滋賀縣戊第九百九拾號達各郡長へ

(本文ハ第百三拾八條ニ出)

第百拾四條

租稅課主管ノ事務中實地檢査等直チニ照會スル儀之
レアルノ事

○明治十四年九月二十八日滋賀縣丙第七拾四號達郡役所へ

租稅課主管事務ノ中便宜ニヨリ實地檢査等取扱ノ儀可及照會儀モ

可有之候條其時々照會ニ應ジ取扱候様可致此旨相達候事

第百拾五條

日限ヲ以テ取調方達相成タル事件期限内ニ取調出來
ガタキ分ハ事由具申ノ事

○明治五年壬申五月日缺滋賀縣第七拾四號布達

兼テ日限ヲ以テ取調差出候様相達候類兎角等閑ニ相心得期限後レ

差出候モノ不少不都合ノ事ニ候右ハ夫々本省へ進達方ニ差支候條

以來屹度相心得相達候日限通り無遅々差出可申候若又無余儀事實

有之取調出來兼向ハ前以其旨可申出候事

右管内へ無洩相達スル者也

第百拾六條

物産ノ統計ハ國家緊要ノ事件ニ付忽諸ニ付スベカラ
ザル事

○明治十三年八月十一日滋賀縣諭達

物産統計ノ國家ニ緊要ナル猶一家收入ノ統計ヲ知ルノ必用ナルカ

如ク固ヨリ忽諸ニ付スヘカラス一家若シ之ヲ知ラサレハ其經濟ヲ

誤リ一國若シ之ヲ詳ニセサレハ其理財ヲ謬ルヤ言ヲ俟タサルナリ

是レ近來政府ニ於テ此統計ヲ議セラレ又經濟家ノ此事ヲ喋々スル

所以ナリ然ルニ從來各村戸長及ヒ人民ノ内ニモ此調査ヲ以テ納租

ノ増減ニ關スルモノト誤解シテ必ス其産額ノ幾分ヲ隱匿シ其實額

本年第二十五
號公布ハ大政
官ノ布告ニ付
本編之ヲ登錄
セス但行政法
規類編初編第
八十五條ニ出

ヲ申告セサルモノモ有之趣甚々謂レナキ次第ナリ抑モ地租ノ義ハ
本年第二十五號公布ノ通尙五ヶ年据置カレ候ニ付決シテ此調査ノ
地租ニ關係ナキハ明了ナリ且ツ從前調査方ハ翌年一月ニ至リ前年
度ノ收入額ヲ調査セシモノニテ假令強記ノ者ト雖モ終歲ノ收穫ヲ
暗記スルハ最モ難クシテ自ラ調査上ニ疎漏遺脱ヲ免レヌ故ニ自今
戸長役場ニ於テ其節毎ニ精査ヲ遂ケ申告ノ期ニ至リ頓ニ毎戸ヲ督
勵シ一歲ノ收穫ヲ調査スルニ苦マシムル等ノコナク漸次完全ナル
實額ヲ結了シ上ハ國家ノ統計ニ供シ下ハ一町村ノ經濟ヲ保理候様
厚ク注意可致此旨諭達候事

○第三章 會議

○第一款 國會

第百拾七條 國會開設期限勅諭ノ事

○明治十四年十月十八日滋賀縣甲第百六拾三號布達
今般別紙ノ通

勅諭相成候條此旨布達候事
別紙

勅諭

朕祖宗二千五百有餘年ノ鴻緒ヲ嗣キ、中古紐ヲ解クノ乾綱ヲ振張シ、
大政ノ統一ヲ總攬シ、又夙ニ立憲ノ政體ヲ建テ、後世子孫繼クベキノ
業ヲ爲サンコトヲ期ス、嚮ニ明治八年ニ元老院ヲ設ケ、十一年ニ府縣
會ヲ開カシム、此レ皆漸次基ヲ創メ、序ニ循テ歩ヲ進ムルノ道ニ由ル
ニ非サルハ莫シ、爾有衆亦朕カ心ヲ諒トセン

種ミルニ、立國ノ體國各宜キヲ殊ニス、非常ノ事業實ニ輕舉ニ便ナラズ、我祖我宗照臨シテ上ニ在リ、遺烈ヲ揚ケ、濫模ヲ弘メ、古今ヲ變通シ、斷シテ之ヲ行フ、實朕カ躬ニ在リ、將ニ明治二十三年ヲ期シ、議員ヲ召シ、國會ヲ開キ、以テ朕カ初志ヲ成サントス、今在廷臣僚ニ命シ、假スニ時日ヲ以テシ、經畫ノ責ニ當ラシム、其組織權限ニ至テハ、朕親ヲ衷ヲ裁シ、時ニ及テ公布スル所アラントス

朕惟フニ、人心進ムニ偏シテ、時會速ナルヲ競フ、浮言相動カシ、竟ニ大計ヲ遺ル、是レ宜シク今ニ及テ、謨訓ヲ明徴シ、以テ朝野臣民ニ公示スベシ、若シ仍ホ故サラニ躁急ヲ爭ヒ、事變ヲ煽シ、國安ヲ害スル者アラハ、處スルニ國典ヲ以テスベシ、特ニ茲ニ言明シ、爾有衆ニ諭ス奉

勅

太政大臣三條實美

明治十四年十月十二日

○第貳款

府縣會

第百拾八條

滋賀縣會議員各郡定員

○明治十一年十二月五日滋賀縣甲第七拾貳號布達

本年第十八號公布府縣會規則ニヨリ來明治十二年一月議員撰學會開設候ニ付テハ初度ノ撰學ニ限リ各郡議員別紙頁數ニ相定候條此旨布達候事

但淺井郡ノ内西淺井郡ハ今回ニ限リ伊香郡ヘ併セ一郡ト看做シ三員撰學可致儀ト可相心得事

別紙

滋賀郡	五員	栗太郡	四員	甲賀郡	五員
野洲郡	四員	蒲生郡	五員	神崎郡	四員
愛知郡	四員	犬上郡	五員	坂田郡	五員
淺井郡 <small>西淺井郡ヲ除ク</small>	三員	伊香郡 <small>西淺井郡ヲ併ス</small>	三員		

本年第十八號公布ハ大政官ノ布告ニシテ本縣ノ布達ニアラズ故ニ本編之ヲ登錄セズ但行政法規類纂初編第四十三條ニ出

十四年六月二日滋賀縣甲第八十二號布達

會議

ヲ以テ伊香西
淺井兩郡ノ員
數ヲ更定ス其
布達ハ後ニ出
○十四年二月
七日若槻四郡
福井縣ノ所轄
ニ屬ス

客年甲第百二
十二號布達ハ
消滅ニ付略ス

高島郡 四員 大飯郡 三員 遠敷郡 四員
三方郡 三員 敦賀郡 三員

計六十四員

○明治十四年六月二日滋賀縣甲第拾貳號布達
縣會議員員數及ヒ撰舉方ノ儀今般縣會ノ決議ヲ採リ左ノ通更正右
改撰ノ爲メ本月三十日限リ撰舉會相開候條此旨布達候事

伊香郡 三員

西淺井郡 壹員

第百拾九條 常置委員設置概則及ヒ縣會支給規則

○明治十五年五月八日滋賀縣甲第百號布達

常置委員設置概則及縣會支給規則今般縣會ノ決議ヲ以テ左ノ通相
定候條此旨布達候事

但客年甲第百二十二號布達ハ消滅ス

○ 常置委員設置概則

第一條 常置委員ハ五人ト定ム

第二條 常置委員ハ廳下ニ赴任スルモノトス

第三條 常置委員ノ月手當旅費日當ハ別ニ支給規則ヲ以テ之ヲ定

第四條 常置委員ハ豫備員五名ヲ増撰シ置キ不時ノ欠員ヲ補フモ
ノトス

但豫備員ハ次回ノ縣會ニ於テ之ヲ改撰ス

第五條 常置委員其職ヲ辭セントスル者アルトキハ常置委員會ニ
於テ其屆書ヲ受理シ補欠員ヲ定メテ縣令ニ報告スルモノトス

第六條 常置委員若シ縣會議員ノ職ヲ辭シ或ハ死亡等ノ故ヲ以テ

欠買ヲ生スルトキハ第五條ノ例ニ依リ補闕ヲ爲スモノトス

第七條 第五條第六條ノ處分ヲ爲シタルトキハ其時々各議員ニ報告スルモノトス

第九條原本ノマ、恐クハ第八條ノ誤ナラシ

第九條 常置委員職務ヲ以テ各地ニ派出セントスルトキハ其時々縣令ニ申告スルモノトス

縣會支給規則

第一章 議長議員

第一條 議長議員ノ往復旅費ハ一里詰拾六錢トス

但一里未滿ハ切捨トス

第二條 議長議員ノ日當ハ壹圓トシ着翌日ヨリ之ヲ給ス

但常置委員ハ之ヲ給セス

第二章 出納委員及調査委員

第三條 出納委員職務ヲ以テ閉會後廳下ニ往復スル旅費及滞在日

當ハ第一條第二條ニ同シ

第四條 調査委員各地ニ派出スル旅費及滞在日當ハ第一條第二條ニ同シ

第三章 常置委員

第五條 常置委員ノ月手當ハ四拾圓トス

第六條 常置委員月手當ハ半月ヲ以テ區分シ赴任十五日前ニ在ル者解任十六日後ニ在ル者ハ其全額ヲ給シ解任十五日前ニ在ル者赴任十六日後ニ在ル者ハ其半額ヲ給ス

但赴任以前辭職ノ者ハ之ヲ給セス

第七條 自後第五條月手當ノ額ヲ増減シタルトキハ第六條ノ例ニ依リ支給ス

第八條 常置委員ノ赴任歸郷旅費ハ一里詰三十八錢トス

第九條 常置委員ノ派出旅費ハ第一條ニ同シ其派出先滞在日當ハ

五拾錢トス

第百貳拾條 縣會議員及ヒ常置委員改撰交替手續

○明治十五年四月十三日滋賀縣甲第七拾七號布達

縣會議員及常置委員改撰交替手續今般縣會ノ決議ヲ以左ノ通相定候條此旨布達候事

縣會議員及常置委員改撰交替手續

第一章 縣會議員

第一條 縣會議員ハ通常會ヲ四度勤ムルヲ以テ任期ヲ終ルモノト

シ第四度ノ通常會ヲ終ヘ該會閉場ノ日ヲ以テ其職ヲ解クモノトス

第二條 縣會議員改撰ノ年度ニ於テ通常會期中ニ改撰撰學會ヲ開

キ代任議員ヲ撰定スルモノトス

第三條 代任議員ハ其年通常縣會閉場ノ翌日ヲ以テ其職ニ就クモ

ノトス

第二章 常置委員

第四條 常置委員ハ通常縣會二度ヲ經ルヲ以テ任期ヲ終ルモノト

シ縣會議員改撰毎トニ之ヲ改撰スルモノトス

第百貳拾壹條 縣會議員改撰撰學ノ節處分方

○明治十五年四月十九日滋賀縣丙第貳拾四號達所^{郡役}

縣會議員改撰撰學ノ節處分方左ノ通可相心得此旨相達候事

縣會議員改撰處分心得

第一條 各郡ニ於テ補欠員ヲ増撰スルノ數ハ左ノ如ク相定メ郡長ヨリ撰學人ニ公告スヘシ

滋賀郡	七員	栗太郡	六員	野洲郡	六員
甲賀郡	七員	蒲生郡	七員	神崎郡	六員

愛知郡 六員 犬上郡 七員 阪田郡 七員
 東淺井郡 五員 伊香郡 五員 西淺井郡 三員
 高島郡 六員

第二條 撰舉投票ハ正撰人即代任者ト増撰人即補欠員トノ數ヲ合
 セ之ヲ一紙ニ投票セシメ票數ノ順次ヲ以テ代任者補欠者ノ當撰
 ヲ定ムヘシ

第三條 補欠當撰ニハ府縣會規則第十九條ニ準シ當撰狀ヲ付與シ
 請書ヲ取り之ヲ郡内ニ公告スヘシ

第百貳拾貳條 縣會議員中被選權ヲ失ヒ解職ノ者報告ノ事

○明治十三年十一月十日滋賀縣丙第七拾六號達所_{郡役}
 縣會議員ノ内被選權ヲ失ヒ解職ノ者有之節ハ其都度別段報告可致
 此旨相達候事

第百貳拾三條 縣會議員選舉被選舉權ヲ有スル人員等調査ノ事

府縣會規則ハ
 太政官ノ布告
 ニシテ本縣ノ
 布達ニアラズ
 故ニ本編之ヲ
 登錄セズ但行
 政法規類纂初
 編第四十三條
 ニ出

本年丙第三十
 六號達ハ前ニ
 出

▲原本朱字

○明治十四年五月二十五日滋賀縣丙第三拾六號達所_{郡役}

縣會議員選舉被選舉權ヲ有スル人員及ヒ町村協議費_{町村會及水利}
 議定シタル經費トモ左ノ書式ニ準シ取調ハ前年度ノ分タルヘシ
 毎年十月限指出スヘシ此旨相達候事

但町村會及水利土功會ヲ開カサル町村ノ協議費ハ其實費ヲ調査

シ届出ヘシ_{左ノ書式ハ後ニ載スル十四年十二月二十一日滋}

○明治十四年十二月二十一日滋賀縣丙第九拾五號達所_{郡役}

本年丙第三拾六號達中届出ノ書式左ノ通改正候條最前達置キタル
 手續ニ依リ調査候儀ト可相心得此旨相達候事

縣會撰舉被選舉權ヲ有スル者取調

郡下本籍ノ者人口總計若干ノ内
 一撰舉權ヲ有スル者 何名_{被撰舉權ヲ有スル者モ此人員中ニ}

但總人口何分ノ幾ハクニ當ル

内 華 士 族 何 名 農 何 名 (農工商ノ内ニ指入スキ營業ノ)

一 被 撰 舉 權 ヲ 有 ス ル 者 何 名

但總人口何分ノ幾ハクニ當ル

内 華 士 族 何 名 農 何 名 (農工商ノ内ニ指入スキ營業ノ)

一 議 員

何 名

右者明治十四年丙第三拾六號達ニ隨ヒ本年撰舉被撰舉權ヲ有スル者并ニ議員ノ員數共取調進達仕候也

郡 長

區町村協議費取調書

▲原本朱字

十四年丙第三十六號達ハ前二出

一金若干

内 譯

郡下幾町村協議費決算額

金

内

治 水 道 費
水 路 橋 梁 修 築 費

金

内 譯

水 利 功 會 議 決 議 金

治 水 費

道 路 修 築 費

橋 梁 修 築 費

衛 生 及 病 院 費

教 育 費

戶 長 役 場 新 築 修 繕 又 ハ 借 家 料

戶 長 役 場 諸 費

會議

十四年丙第三十六號達ハ前ニ出

右ハ明治十四年丙第三十六號御達ニ隨ヒ何年度郡下協議費取調進達仕候也

金 金

教育費 何々費

郡 長

二百十四

區町村會法ハ
大政官ノ布告
ニシテ本縣ノ
布達ニアラズ
故ニ本編之ヲ
登錄セス但行
政法規類纂初
編第四十六條
ニ出教百令ハ
同第百三十四
條ニ出

○第三款 區町村會

第百貳拾四條

學事ニ係ル議案ヲ町村會ニ付シ及ヒ其評決ヲ實施スル手續

○明治十四年十一月二十二日滋賀縣甲第百九拾四號布達

學事ニ係ル議案ヲ町村會ニ付シ及ヒ其評決ヲ認可不認可スル等ハ總テ學務委員協議ノ上區町村會法ニ據リ戶長ニ於テ之ヲ取扱ヘシ尤經費ノ賦課徵收ヲ除キ其他ノ事業ヲ實施スルハ戶長協議ノ上教育令ニ據リ學務委員ニ於テ取扱ヘキ儀ト可心得此旨布達候事

第百貳拾五條

學務委員ノ定員給料旅費職務取扱諸費等町村會ノ議決ヲ經タル後縣令ヘ伺出ノ事

○明治十四年九月十二日滋賀縣甲第百四拾五號布達

(本文ハ第百四拾五條ニ出)

會議

二百十五

○第四款 教育會

第百貳拾六條 教育會開設手續并ニ議事ノ顛末開申之事

○明治十四年六月三十日滋賀縣丙第四拾八號達郡役所學務委員
小學校教員へ
各郡町村ニ於テ學事ニ就キ諮問講究等ノ爲メ教育會ヲ開設セント
スルハ其規則等當廳へ可伺出且右開會ノ都度議事ノ顛末開申可
致此旨相達候事

但從來開設セルモノハ此際取纏メ開申可致候事

○第五款 衛生會

第百貳拾七條 地方衛生會規則

○明治十三年四月二十八日滋賀縣甲第四拾三號布達

地方衛生會規則別紙ノ通公達相成候條爲心得此旨布達候事
但開設日限ノ儀ハ追テ可相達事

別紙

地方衛生會規則

第一條 本會ハ地方衛生ノ全体ヲ視察シ人民ノ健康ヲ保持増進ス
ルノ目的ニシテ府知事縣令ヲ輔翼スルガ爲メ設立スルモノトス

第二條 本會ハ左ノ人員ヲ以テ之ヲ編成ス

醫師三名乃至五名

府縣會議員三名

公立病院長

十三年六月二十
十二日滋賀縣
甲第七十三號
布達ヲ以テ開
設日限ヲ示ス
其布達ハ後ニ
出
十四年一月二
十九日滋賀縣
甲第十四號布
達ヲ以テ第二
條ハ但書ヲ追
加シ同年四月
三十日同甲第
六十五號布達
ヲ以テ委員ヲ

公立病院藥局長

衛生課長

警察官一名

第三條 本會ハ府知事縣令ノ管理ニ屬シ其委員ハ知事令之ヲ命ス
但醫師ハ府縣會議員ヲシテ管内ノ開業醫師ヲ公撰セシメ府縣
會ヨリ出ス所ノ委員ハ其府縣會ニ於テ之ヲ公撰セシム
第四條 會長ハ府知事縣令之ニ任シ副會長ハ委員中ヨリ投票ヲ以
テ之ヲ撰定ス

第五條 公撰委員ノ在任ハ滿二ケ年トナシ滿期毎ニ之ヲ改撰ス
但前任ノ者ヲ再撰スレヲ得

第六條 委員ノ外書記一名若クハ二名ヲ命シ本會ノ雜務ヲ處辨セ
シム

第七條 委員ハ俸給ナシ但開會ノ地ヲ距ル三里以外ニ住スル者ニ

ハ相當ノ旅費ヲ給シ又非職無給ノ者ニハ相當ノ手當ヲ給スルヲ
得

第八條 本會ハ少ナクモ毎月一回之ヲ開クモノトス
但臨時又ハ至急ヲ要スル事件アル時ハ會長ノ招集ニ應シテ之
ヲ開キ又委員半數以上ノ請求ニ依テ之ヲ開ク事ヲ得
第九條 本會ニ於テ議定スヘキ事件左ノ如シ

- 一 衛生上ニ關スル布告布達等ヲ該地方ニ實施スルノ方法
- 二 府縣ニ於テ發行スヘキ衛生上ニ關スル布達ノ草案
- 三 府知事縣令ヨリ發セル議案并中央衛生會內務省衛生局及
ヒ郡區町村衛生掛ノ尋問ニ係ル事項

第十條 本會ハ各郡區役所ヨリ府縣廳へ上申セル衛生上ノ諸報告
等ヲ檢察スヘシ

第十一條 本會ハ該地方ニ實施スヘキ衛生事項ニ就キ其考察ヲ府

知事縣令ニ建議スルヲ得

第十二條 本會ハ該地方ノ衛生上ニ關スル實況ヲ檢察スルガタメ
擔當吏員ノ派出ヲ府知事縣令ニ建議スルヲ得

第十三條 本會ノ議事筆記ハ時々之ヲ内務省ニ報告スヘシ

○明治十四年一月二十九日滋賀縣甲第拾四號布達

明治十三年^四當縣甲第四十三號布達地方衛生會規則今般公達ノ次
第モ有之第二條ヘ左ノ通但書追加候條此旨布達候事

第二條

但地方ノ實況ニヨリ本條定限ノ外別ニ會員ヲ要スルトキハ内
務卿ニ具狀シテ之ヲ増置スルヲ得

○明治十四年四月三十日滋賀縣甲第六拾五號布達

明治十三年^四本縣甲第四拾三號ヲ以テ布達候地方衛生會委員今般

十三年當縣甲
第四十三號布
達ハ前ニ出

十三年本縣甲
第四十三號布

達ハ前ニ出

左ノ通増置候條此旨相達候事

○

郡長

壹名

○明治十三年六月二十二日滋賀縣甲第七拾三號布達

本年^四本縣甲第四十三號布達地方衛生會ノ義本月二十六日以後規
則ノ通開場候條此旨布達候事

第百貳拾八條 町村聯合衛生會規則

○明治十五年一月二十七日滋賀縣甲第拾九號布達

町村聯合衛生會規則別冊ノ通相定候條自今該會ヲ要スル町村ハ右
ニ照準開設スヘシ此旨布達候事

但從前屆濟開設ノ分モ更ニ本則ニ照準可致儀ト可相心得事

(別冊)

町村聯合衛生會規則

本年本縣甲第
四十三號布達
ハ前ニ出

會議

第一條 本會ハ衛生上ニ關スル事項ニ就テ專ラ其實施ノ方法ヲ議スルモノトス

第二條 本會ハ每郡最寄町村聯合シテ開設スルモノトス
但聯合ノ區域ハ各地方ノ便宜ニ依リ各町村ノ協議ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第三條 會員ハ各部内町村戸長衛生委員及其部内ニ居住ヲ定ムル開業醫師五名以下ヲ以テ之ヲ編成ス

但部内ノ實況ニ因リ本條定限ノ外別ニ會員ヲ要スルモハ郡長ニ於テ縣廳ノ認可ヲ經之ヲ増置スルコトヲ得

第四條 前條開業醫師ハ其部内戸長衛生委員ニ於テ撰舉スルモノトス

第五條 本會ヲ設立シ又ハ廢合分離セントスルモハ其郡度聯合町村戸長衛生委員等連署ノ願書ヲ以テ郡長ヲ經由シ縣令ノ裁可ヲ

受クヘシ

第六條 會長副會長ハ其會員中ヨリ投票ヲ以テ之ヲ撰定シ當撰者ノ住所姓名等郡長ヘ申報スヘシ

第七條 會長副會長及開業醫師ノ任期ハ滿一年トシ滿期毎ニ改撰ス尤前任ノ者ヲ再撰スルモ妨ケナシ

第八條 會員ノ外書記二名乃至三名ヲ置キ本會ノ庶務ヲ辦理セシム

第九條 本會ハ少ナクモ三ヶ月一回之ヲ開クモノトス尤至急ヲ要スルモハ臨時開會スルモノトス

但通常會ノ期日及其場所ハ遲クモ五日以前臨時會ハ其郡度會長ヨリ郡長ヘ報告スヘシ自然開會ヲ要セサルモ其旨郡長ヘ報告スヘシ

第十條 本會ノ議事細則ハ會員ノ決議ヲ以テ之ヲ定メ郡役所ヲ經

由シテ縣廳へ報告スヘシ

第十一條 本會ニ於テ議スヘキ事件大要左ノ如シ

一 衛生上ニ關スル布告布達等ヲ部内人民ニ疏通了解セシムルノ方法

二 衛生上ニ關スル成規ノ届書及申報等滯滞ナカラシムヘキ方法

三 部内衛生上ノ弊害ヲ改良スル方法

四 郡長ヨリ發セル議案並地方衛生會及衛生課等ノ諮詢ニ係ル事件

第十二條 本會ノ意見ヲ以テ一般衛生上ノ利害ヲ地方衛生會長ニ建議スルコトヲ得

第十三條 本會ノ費用ハ部内各町村ノ協議費ヲ以テ支辨スヘシ

第十四條 本會ノ決議ハ其都度會長ノ名ヲ以テ郡長へ報告シ戸長

之ヲ施行ス郡長ニ於テ其決議ヲ不適當ナリトスルキハ其施行ヲ止メ縣令ノ指揮ヲ請フヘシ

第十五條 縣令ニ於テ前條郡長ノ具申ヲ至當ナリトスルキハ再議或ハ取消ヲ命シ又其會議他事ニ涉リ或ハ法ニ背クコトアリトスルキハ解散ヲ命スルコトアルヘシ

○第六款 農商工會

第百貳拾九條 農談會開設例

十三年甲寅百五十九號布達ハ廢止ニ付略ス

○明治十四年八月二十三日滋賀縣甲第百三拾壹號布達
去明治十三年^{十月十二}甲第百五十九號ヲ以テ農會規則及布達置候處詮議ノ次第有之右ハ相廢シ更ニ農談會開設例別紙ノ通相定候條此旨布達候事

但本年度ハ縣會ノ決議ヲ以テ區農會ヘ左ノ割合ノ會費ヲ補助候條開會ノ節所屬郡役所ヘ申出可受取候事

一會員壹名ニ付 金五拾錢 但一回限リ

一會場壹ヶ所ニ付 金四圓 全 上

内 筆紙墨薪炭料 金貳圓五拾錢
借 家 料 金壹圓五拾錢

別紙 農談會開設例

第一條 縣下ニ於テ開設スル農談會ヲ二種ニ認メ一ヲ區農會トシ

十五年度則十五年七月ヨリ十六年六月ニ至ル補助金額ハ未タ布達之レナシ

官設ノ勸業世話役及ヒ試作人ハ十五年六月三十日限リ廢ス

一ヲ村農會トス

第二條 區農會ハ一農區内(十二年度本縣勸業課第一回年報ニ揭示シタル區域ニヨル)每村壹名ツ、撰定シタル老農ヲ以テ組織シタルモノヲ云フ
但其部内勸業世話役及其區内試作人モ共ニ會員タルハ勿論タル可シ

第三條 村農會ハ其村ニ於テ平常農事ニ從フ者ヲ以テ組織シタルモノヲ云フ
但シ數村聯合シテ開會スルモノモ本條ニ準ス

第四條 區及村農會ハ學術ト實地ヲ問ハズ農業上各自ノ經驗ヲ集談シ并セテ種子苗木等ノ交換ヲナシ以テ農事ノ改進ヲ圖ルモノトス而シテ集談上最モ緊要ノ條件ヲ例スレハ凡ソ左ノ如シ

第一 農業上各村ノ利害ニ關スルコト

第二 耕耘培養ノ方法ニ關スルコト

第三 土地及肥料適否ノ一
 第四 農産收穫高調査ノ一
 第五 養蠶製茶牧畜水産其他開墾等ニ關スル一
 第六 動植物ノ病患及虫害等ノ豫防驅除ニ關スル一
 第五條 區農會ニ於テハ開會ノ期日及會場ノ位置ヲ豫定シ其他一般ノ會務ヲ整理スル爲メ若干ノ委員ヲ撰定スルヲ得
 第六條 各農會開會期日及會場ノ位置等區農會ハ委員村農會ハ會員總代ヨリ所屬郡役所ヲ經由シ本縣ヘ報告スヘシ
 但該會ニ關シ本縣ヘ報告スル事件ハ都テ本條ノ例ニ準シ且ツ村農會ハ其村戸長ノ連署ヲ要スルモノトス
 第七條 各農會ニ於テ集談シタル要件ハ之ヲ筆記シ所屬郡役所ヲ經テ本縣ヘ差出スヘシ本縣ニ於テハ勸業課報告ニ登錄シ一般ヘ頒布スヘシ

○第四章 兵事

○第壹款 徵兵ニ關スル規則

第百三拾條 徵兵令改正ニ付徵兵事務取扱方

○明治十二年十一月二十二日滋賀縣甲第百六拾貳號布達
 今般第四十六號ヲ以テ徵兵令改正公布相成候付右取扱方別冊ノ通相心得可致調査旨其筋ヨリ達有之候條爲心得此旨布達候事

別冊

第一項 徵兵令第二十八條項目中第一項第三項及ヒ第四項但書並ニ第二十九條第一項但書ニ當ル者ハ徵兵令改正布告即チ本年十月二十七日ヲ以テ區分トナシ同日以前已ニ戸主トナリ或ハ年齢五十歳以上ノ者ノ嗣子或ハ承祖ノ孫又ハ五十歳以上ニシテ嗣子ナキ者ノ養子嗣子或ハ相續人トナリ又ハ年齢五十歳未滿ノ者ノ嗣子或ハ承祖ノ孫トナリタル者ハ國民軍ノ外兵役ヲ免シ或ハ平時

第四十六號公布ハ大政官ノ布告ニシテ本縣ノ布告ニアラズ故ニ本縣之ヲ登錄セズ但民軍成交律類第貳編第百三拾條三十三條三十五條三十九條四十二條四十三條四十四條四十五條四十六條四十七條四十八條四十九條五十條五十一條五十二條五十三條五十四條五十五條五十六條五十七條五十八條五十九條六十條六十一條六十二條六十三條六十四條六十五條六十六條六十七條六十八條六十九條七十條七十一條七十二條七十三條七十四條七十五條七十六條七十七條七十八條七十九條八十條八十一條八十二條八十三條八十四條八十五條八十六條八十七條八十八條八十九條九十條九十一條九十二條九十三條九十四條九十五條九十六條九十七條九十八條九十九條百條

十三年三月五日
日滋賀縣甲第
二十號布達ヲ
以テ第二項中
へ追加及ヒ第
三項改正其布
達ハ後ニ出

- ニ於テ兵役ヲ免シ同日以後ニ係ル者ハ總テ徵集ニ應セシムベシ
- 第二項 徵兵令第三十三條ニ揭示ノ同令第二十八條第四項第六項第八項第二十九條第四項乃至第十項及ヒ第三十條第六項第七項ニ當ル者ハ徵兵令改正布告即チ本年十月二十七日ヲ以テ區分トナシ同日以前ニ係ル者ハ該項ニ據リ免役又ハ猶豫トシ同日以後ニ係ル者ハ徵集ニ應セシムヘシ
- 第三項 從來翌年回徵兵ハ徵兵令第三十四條ニ準シ之ヲ調査スベシ
- 但徵集規避ノ見認アル者ハ本條ノ限ニアラス
- 第四項 徵兵令第六十七條ノ定規ノ届出ヲ怠ル者ハ本年其届出ノ時限既ニ經過スルヲ以テ之ヲ同條ニ當テスシテ尋常ノ徵兵同様取扱フヘシ
- 第五項 本年國民軍籍ニ入ル者ハ文久二壬戌年二月ヨリ文久三癸

徵兵事務條例
ハ民事成文律
類第ニ編第
十三條ニ出

- 亥年正月迄ニ出生ノ者ヲ相當トス此人員中文久二年二月ヨリ十二月迄ニ出生ノ者ハ昨十一年巳ニ管轄廳ニ於テ調査濟ナルヲ以テ文久三年正月申出生ノ者ノミ本年之ヲ調査シ而シテ來十三年同軍籍ニ入ル者ハ文久三癸亥年二月ヨリ元治元甲子年正月迄ニ出生ノモノヲ以テ相當トシ爾後年々此例ニ依リ調査スヘシ
- 第六項 來十三年ノ徵兵ハ安政六己未年二月ヨリ萬延元庚申年正月迄ニ出生ノ者ヲ相當トス此人員中安政六年二月出生ノ者ハ己ニ本年ノ徵集ニ應セシヲ以テ同年三月ヨリ萬延元年正月迄ニ出生ノ者ヲ調査シ而シテ明治十四年ノ徵兵ハ萬延元庚申年二月ヨリ文久元辛酉年正月迄ニ出生ノ者ヲ以テ相當トシ爾後年々此例ニ依リ調査スヘシ
- 第七項 來十三年徵兵相當ノ者ハ本年ニ限り郡區長ニ於テ適宜ノ方法ヲ以テ之ヲ調査シ徵兵事務條例第二十二條ニ示シタル壯丁

十二年本縣甲
第百六十二號
布達ハ前ニ出

○明治十三年三月五日滋賀縣甲第貳拾號布達
昨明治十二年十一月一日本縣甲第百六十貳號ヲ以テ及布候達徵兵令改正
ニ付右取扱方心得書中第一項第二項及ヒ第三項左ノ通追加并改正
相成候旨陸軍省ヨリ達相成候條此旨布達候事

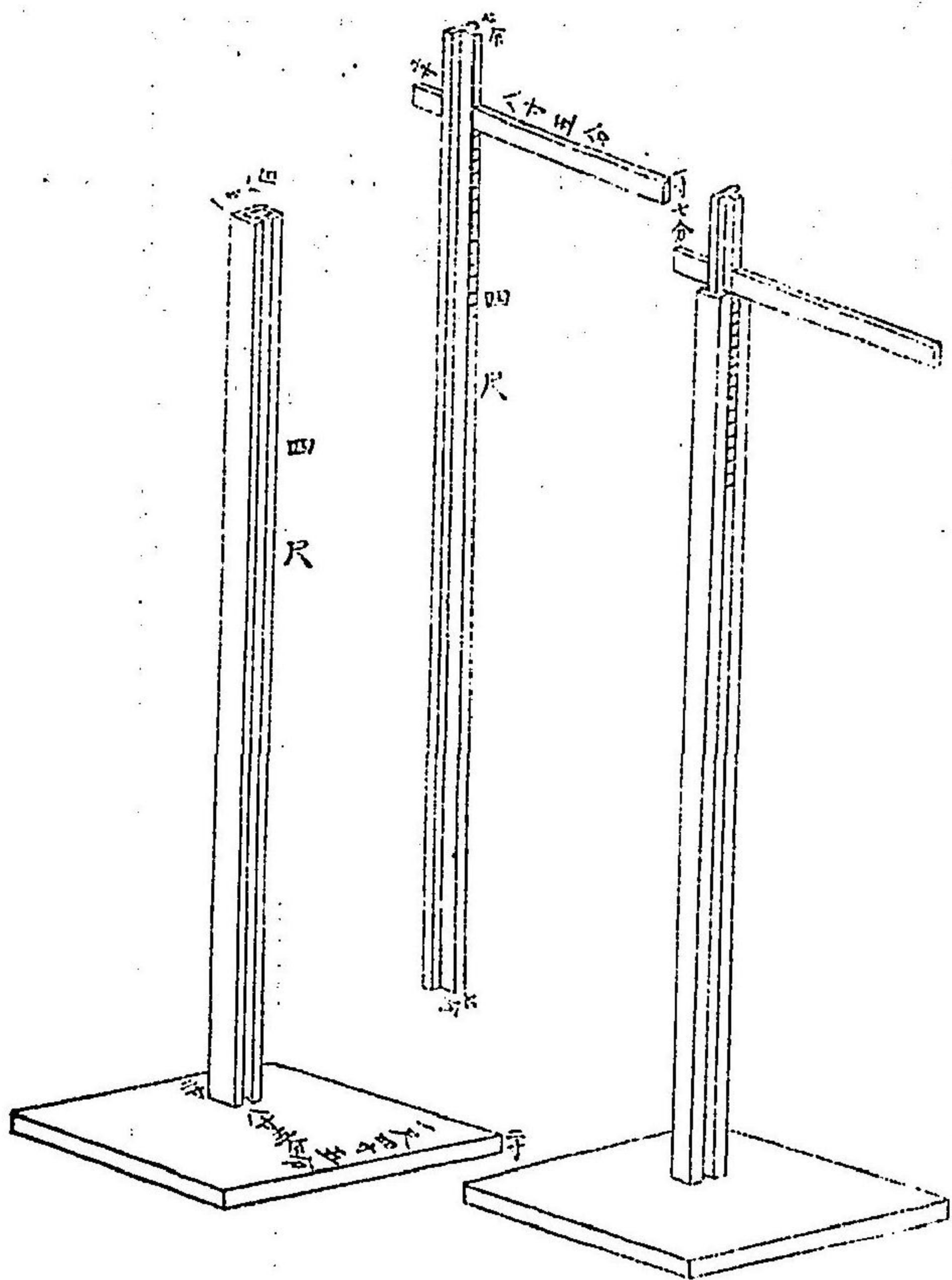
- 第一項 四行目同ノ下二月二十六ノ四字ヲ加フ(三百二十九)
- 同 九行目同ノ下二月二十七ノ四字ヲ加フ(三百三十)
- 第二項 五行目同ノ下二月二十六ノ四字ヲ加フ(三百三十五)
- 同 六行目同ノ下二月二十七ノ四字ヲ加フ(三百四十)
- 第一項 徵兵令第二十八條項目中云々

但本文十月二十六日以前已ニ等外吏ニシテ爾後勤續ノ者或ハ
嗣子ニアラサル獨子及ヒ承祖ノ孫ニ非サル獨孫ハ國民軍ノ外
兵役ヲ免シ又ハ年齡五十歲未滿ノ者ノ養子嗣養孫承祖及相續

兵事

三百二十五

身幹度尺之圖



三百二十四

